

私とマイデル



- ✎ **メモ**：備考では、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
- △ **注意**：指示に従わない場合、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示しています。
- ⚠ **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性を示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。Dell™、および Dell のロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書に記載されているその他すべてのマークおよび名称は、それぞれの企業の商標である場合があります。

目次

コンピュータのセットアップ	11
インターネットへの接続	11
LAN を使用したインターネットへの接続	11
WLAN を使用したインターネットへの接続	11
WWAN を使用したインターネットへの接続	12
オーディオのセットアップ	13
5.1/7.1 オーディオの設定	14
5.1 スピーカーの接続	15
7.1 スピーカーの接続	16
プリンタのセットアップ	17
ウェブカメラのセットアップ	18
内蔵ウェブカメラ	18
外付けウェブカメラ	18
Bluetooth のセットアップ	18
Intel RealSense 3D カメラのセットアップ	18
コンピュータについて	19
電源アダプタ	19
バッテリー	20
コイン型電池	20
タッチパッド	21
ディスプレイ	21
タッチスクリーン	21
3D	21

カメラ	22
ウェブカメラ	22
3D カメラ	22
Intel RealSense 3D カメラ	22
ワイヤレスディスプレイ	22
キーボード	22
物理キーボード	23
キーボード背面ライト	23
オンスクリーンキーボード	24
キーボードの接続タイプ	24
有線	24
ワイヤレス	24
サービスタグとエクスプレスサービスコード	25
コンピュータ上のラベルの位置	25
デルサポートサイト	25
BIOS セットアッププログラム	25
ストレージデバイス	26
内蔵ストレージデバイス	26
リムーバブルストレージデバイス	26
光学ドライブと光学ディスク	26
メモリカード	27
メモリモジュール	29
システム基板	30
チップセット	30
プロセッサ	30
コンピュータファン	31
サーマルグリース	32
ビデオカード	32

TV チューナー	33
内蔵	33
外付け	33
スピーカー	34
2.1 オーディオ	34
5.1 オーディオ	34
7.1 オーディオ	34
ウェブカメラ	35
ネットワーク	35
ローカルエリアネットワーク (LAN)	35
ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)	35
ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)	35
ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN)	35
モデム	36
ルーター	36
ネットワークインタフェースコントローラ (NIC)	36
ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) アダプタ	36
ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) アダプタ	37
Bluetooth	37
近距離無線通信	37
コンピュータの使用	38
バッテリーの充電	38
キーボードの使用	38
キーボードショートカット	38
キーボードショートカット – Windows 8.1/Windows RT	41
キーボードのカスタマイズ	42
ノートブックのテンキーパッドの使用	43

タッチパッドの使用	43
タッチパッドの動作	44
スクロール	44
ズーム	45
回転	46
フリック	47
クイック起動	47
タッチスクリーンの使用	47
タッチスクリーンの動作	48
ズーム	48
停滞	48
フリック	49
回転	49
スクロール	49
Bluetooth の使用	50
Bluetooth デバイスとコンピュータまたはタブレットのペアリング	50
ウェブカメラの使用	51
静止画像のキャプチャ	52
ビデオの録画	52
カメラとマイクの選択	52
ポートおよびコネクタ	53
オーディオ	53
オーディオポートのタイプ	53
USB	54
USB ポート	54
eSATA	56
ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA)	56

デジタルビジュアルインタフェース (DVI)	56
DisplayPort	56
ミニ DisplayPort	56
DisplayPort の利点	57
HDMI	57
HDMI の利点	57
ミニ HDMI	57
micro-HDMI	58
S/PDIF	58
ソフトウェアとアプリケーション	59
Absolute	59
Absolute のサポート	59
My Dell Downloads	59
Dell SupportAssist	60
Dell SupportAssist のダウンロード	60
SupportAssist にアクセス	60
PC CheckUp	61
Solution Station	61
Solution Station 提供のサービス	62
Quickset	62
Quickset のインストール	63
NVIDIA 3D アプリケーション	63
3D ゲームのプレイ方法	63
キーボードショートカット	63
DellConnect	64

オペレーティングシステムの復元	65
システムリカバリオプション	65
Dell Backup and Recovery	66
Dell Backup and Recovery Basic	66
Dell Backup and Recovery へのアクセス	66
システム再インストールディスクの作成	67
コンピュータの復元	67
Dell Backup and Recovery Premium	67
Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード	67
システムバックアップからのデータの復元	67
フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元	67
ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元	68
フルシステムバックアップの作成	68
Dell Factory Image Restore	68
Dell Factory Image Restore へのアクセス	68
Dell Factory Image Restore の開始	69
システムの復元	70
Windows 10	70
システムの復元の使用	70
最後のシステムの復元を元に戻す	70
Windows 8.1	71
システムの復元の使用	71
最後のシステムの復元を元に戻す	71
Windows 7	71
システムの復元の使用	71
最後のシステムの復元を元に戻す	71

オペレーティングシステムディスク	72
オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールする	72
システム再インストールメディア	72
システム再インストールメディアを使用したコンピュータの復元	73
トラブルシューティング	74
基本的なトラブルシューティング手順	74
Diagnostics (診断)	74
起動前システムアセスメント	74
PSA の起動	74
拡張 PSA	75
LCD BIST	76
LCD BIST の起動	76
ePSA の起動	77
ビーブコード	78
BIOS	79
BIOS 設定の変更	79
BIOS セットアッププログラムの起動	79
BIOS パスワードのリセット	80
CMOS バッテリーの取り外し	80
システム基板ジャンパの使用	80
起動順序の変更	81
起動メニューの使用	81
BIOS セットアッププログラムの使用	81


困ったときは/デルへのお問い合わせ	82
困ったときは	82
デルへのお問い合わせ	83
参考文献	84
コンピュータのメンテナンス	84
電力管理	84
電源設定の実行	85
電源ボタンの動作の設定	86
バッテリー寿命の向上	86
Dell 長寿命モード	87
Dell デスクトップモード	87
移行のヒント	88
Windows オペレーティングシステムからの新しいオペレーティングシステムへの移行	88
人間工学情報	89
デルと環境	90
規制順守ポリシー	92
規制順守ウェブサイトについての連絡先詳細	92
その他の規制順守情報	92

コンピュータのセットアップ

セットアップ手順はお使いのコンピュータによって異なります。お使いのコンピュータまたはタブレット固有のセットアップ手順については、そのコンピュータまたはタブレットに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または www.dell.com/support を参照してください。


インターネットへの接続

コンピュータのインターネットへの接続には、ケーブル、DSL、ダイヤルアップ、または WWAN 接続を使用することができます。有線または無線ルーターを取り付けて、複数のデバイスとケーブルまたは DSL インターネット接続を共有することもできます。一部のケーブルモデムおよび DSL モデムにも無線ルーターが搭載されています。

 **メモ**：お使いのコンピュータをケーブルモデムまたは DSL モデムを使用してインターネットに接続する前に、ブロードバンドモデムとルーターが設定されていることを確認してください。モデムおよびルーターのセットアップについては、ご契約のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせ合わせください。

LAN を使用したインターネットへの接続

1. イーサネットケーブルをモデムまたはルーター、およびお使いのコンピュータに接続します。
2. モデムまたはルーター、およびコンピュータのアクティビティライトをチェックします。


 **メモ**：一部のコンピュータにはアクティビティライトが装備されていません。



3. ウェブブラウザを開いてインターネット接続を確認します。

WLAN を使用したインターネットへの接続

 **メモ**：お使いのコンピュータで Wi-Fi が有効になっていることを確認します。お使いのコンピュータでワイヤレスを有効にする手順については、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または www.dell.com/support を参照してください。


Windows 10

1. 通知メニューでワイヤレスアイコン  をクリックまたはタップします。

 **メモ**：Windows 8.1/Windows RT の場合は、チャームサイドバーの**設定**をクリックまたはタップし、 をクリックまたはタップします。

2. 接続先となるネットワークをクリックまたはタップします。

3. 接続をクリックまたはタップします。

 **メモ**：プロンプトが表示された場合は、ネットワークパスワードを入力します。ネットワークパスワードは、ルーターのセットアップ時に設定した場合と、デフォルトネットワークパスワードがルーターに設定されている場合があります。詳細については、ルーターの製造元にお問い合わせください。

4. オプションで、ファイル共有をオンまたはオフにします。


Windows 8.1

1. チャームサイドバーの**設定**をクリックまたはタップし、 をクリックまたはタップします。

2. 接続先となるネットワークをクリックします。

3. **接続**をクリックします。

4. プロンプトが表示された場合は、ネットワークパスワードを入力します。

 **メモ**：ネットワークキーは、ルーターのセットアップ時に設定した場合と、デフォルトネットワークキーがルーターに設定されている場合があります。詳細については、ルーターの製造元にお問い合わせください。

5. オプションで、ファイル共有をオンまたはオフにします。


Windows 7

1. タスクトレイの をクリックします。

2. 接続先となるネットワークをクリックします。

3. **接続**をクリックします。

4. プロンプトが表示された場合は、ネットワークパスワードを入力します。


 **メモ**：ネットワークキーは、ルーターのセットアップ時に設定した場合と、デフォルトネットワークキーがルーターに設定されている場合があります。詳細については、ルーターの製造元にお問い合わせください。

5. オプションで、ファイル共有をオンまたはオフにします。

WWAN を使用したインターネットへの接続

WWAN 接続は、モデムまたはルーターの必要なく、お使いのノートブックまたはタブレットをインターネットに接続できます。お使いのコンピュータの WWAN カードは携帯電話のようなサービスプロバイダのネットワークに直接接続します。


ネットワークサービス契約付きのタブレットを購入した場合は、インターネットがすでにアクティブになっている場合があります。

 **メモ**：お使いのコンピュータで Wi-Fi が有効になっていることを確認します。お使いのコンピュータでワイヤレスを有効にする手順については、www.dell.com/support の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）を参照してください。


Windows 10

1. 通知メニューのワイヤレスアイコンをクリックまたはタップします。
2. モバイルブロードバンドネットワークの名前をクリックまたはタップします。
3. **接続**をクリックまたはタップします。
4. プロンプトが表示されたら、アクセスポイント名 (APN) または PIN、ユーザー名、パスワードを入力します。

Windows 8.1/Windows RT

1. チャームサイドバーで**設定**をクリックまたはタップします。
2.  をクリックまたはタップします。
3. 接続先となるネットワークをクリックまたはタップします。
4. **接続**をクリックまたはタップします。
5. プロンプトが表示されたら、アクセスポイント名 (APN) または PIN、ユーザー名、パスワードを入力します。

Windows 7

1. **スタート**  をクリックして、検索ボックスに Mobile Broadband Utility と入力し **<Enter>** を押します。
2. Mobile Broadband Utility ウィンドウで**接続**をクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、アクセスポイント名 (APN) または PIN、ユーザー名、パスワードを入力します。


オーディオのセットアップ


デルのノートブックおよびタブレットには、2 チャンネルオーディオをサポートするスピーカーが内蔵されています。内蔵スピーカーを使用するには、メディアを再生し、音量をお好みの高さに設定します。

デルのコンピュータおよびタブレットは 3.5 mm オーディオポートもサポートしており、外部スピーカーを接続できます。2 チャンネルオーディオをセットアップする場合は、スピーカーを 3.5 mm ヘッドフォンポートまたはオーディオポートに接続します。

一部のデルのデスクトップは 5.1/7.1 オーディオをサポートしています。5.1/7.1 オーディオをセットアップする場合は、最良のオーディオ出力を得るために適切なポートにスピーカーを接続する必要があります。

 **メモ**：コンピュータまたはタブレットで利用できるポートの詳細については、www.dell.com/support の Specifications (仕様) を参照してください。

 **メモ**：最良の結果を得るには、お使いのスピーカーに同梱のマニュアルに記載されているとおりにスピーカーを設置してください。

 **メモ**：外付けサウンドカードを取り付けたコンピュータでは、スピーカーをカードのコネクタに接続してください。



5.1/7.1 オーディオの設定

マルチチャンネルのオーディオ出力を提供するようにコンピュータを設定します。

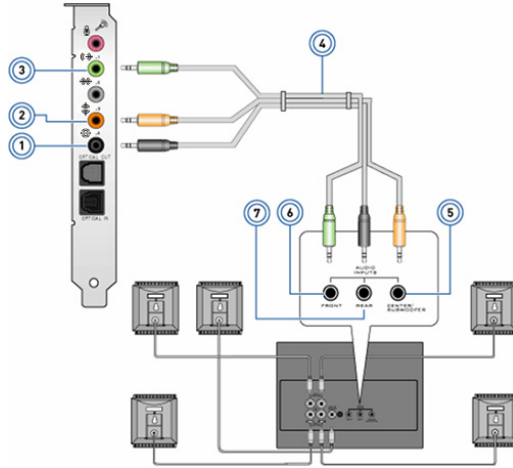
Windows 8.1/10

1. 検索ボックスにオーディオと入力します。
 - **メモ**：Windows 10 の場合は、検索アイコンをクリックまたはタップして検索ボックスにアクセスします。Windows 8.1 の場合は、検索チャームにアクセスして検索ボックスにアクセスします。
2. **オーディオデバイスの管理**をクリックまたはタップします。
3. **再生**タブで、**スピーカー**または**ヘッドフォン**をクリックまたはタップします。
4. **設定**をクリックまたはタップして、**テスト**をクリックまたはタップします。全てのスピーカーから音が聞こえます。
5. **次へ**をクリックまたはタップして、画面の指示に従います。

Windows 7

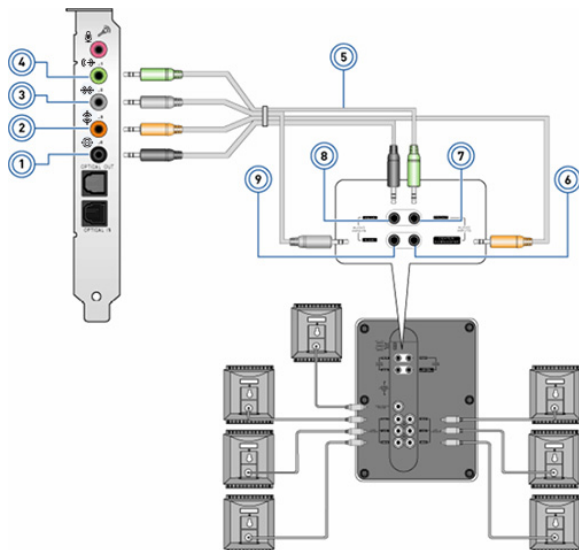
1. **スタート**  をクリックして、検索ボックスにサウンドと入力し<Enter>を押します。結果が表示されたら、**サウンド**をクリックします。別の方法として、**スタート**  → **コントロールパネル** → **ハードウェアとサウンド** → **サウンド**の順にクリックします。
2. **スピーカー**を選択し、**構成**をクリックします。**スピーカーのセットアップ**ウィンドウが開きます。
3. **オーディオチャンネル**：の下にあるスピーカー設定を選択し、**テスト**をクリックします。全てのスピーカーから音が聞こえます。
4. **次へ**をクリックして、画面の指示に従います。

5.1 スピーカーの接続



- | | | | |
|---|-----------------------------------|---|-------------------------|
| 1 | コンピュータのリアオーディオコネクタ (⇄) (●) | 5 | スピーカのセンター / LFE サラウンド出力 |
| 2 | コンピュータのセンター / LFE サラウンド出力 (⇄) (●) | 6 | スピーカのフロントオーディオコネクタ |
| 3 | コンピュータのフロントオーディオコネクタ (⇄) (●) | 7 | スピーカのリアオーディオコネクタ |
| 4 | 5.1 チャンネルオーディオケーブル | | |


7.1 スピーカーの接続



- | | | | |
|---|---|---|-----------------------|
| 1 | コンピュータのリアオーディオコネクタ  | 6 | スピーカのセンター LFE サラウンド出力 |
| 2 | コンピュータのセンター/LFE サラウンド出力  | 7 | スピーカのフロントオーディオコネクタ |
| 3 | コンピュータのサイドオーディオコネクタ  | 8 | スピーカのリアオーディオコネクタ |
| 4 | コンピュータのフロントオーディオコネクタ  | 9 | スピーカのサイドオーディオコネクタ |
| 5 | 7.1 チャンネルオーディオケーブル | | |

プリンタのセットアップ


USB を使用してプリンタをコンピュータに接続できます。Wi-Fi および Bluetooth 接続をサポートしているプリンタもあります。

 **メモ**：お使いのプリンタがサポートする機能と取り付け手順は、プリンタのモデルに応じて異なる場合があります。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。

有線プリンタを取り付ける場合は、USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続してから手順を実行します。無線プリンタを取り付ける場合は、プリンタのマニュアルの手順に従います。

Windows 8.1/10


1. 検索ボックスにデバイスと入力します。

 **メモ**：Windows 10 の場合は、検索アイコンをクリックまたはタップして検索ボックスにアクセスします。Windows 8.1 の場合は、検索チャームにアクセスして検索ボックスにアクセスします。

2. **デバイスとプリンタ**をクリックまたはタップします。

3. **プリンタの追加**をクリックまたはタップします。**デバイスの追加**ウィンドウが開きます。

4. 画面の指示に従います。


 **メモ**：プリンタが取り付けられている場合は、右側のリストにそのプリンタが表示されます。お使いのプリンタがこのリストにない場合は、デバイスリスト上部の**デバイスの追加**をクリックまたはタップします。このリストからお使いのプリンタを選択し取り付けます。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。

Windows 7

1. **スタート**  → **デバイスとプリンタ**の順にクリックします。

2. **プリンタの追加**をクリックします。**プリンタの追加**ウィンドウが表示されます。

3. 画面の指示に従います。

 **メモ**：プリンタを追加している間に、プリンタドライバのインストールが指示される場合があります。プリンタドライバメディアを使用するか、またはプリンタ製造元のウェブサイトからドライバをダウンロードします。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。

ウェブカメラのセットアップ

内蔵ウェブカメラ

内蔵ウェブカメラはノートブックのディスプレイまたは外部ディスプレイにあります。ウェブカメラをコンピュータと一緒に注文した場合は、コンピュータの受け取り時にドライバとソフトウェアがインストールされています。コンピュータに付属のメディアは、ドライバやソフトウェアの再インストール時のみ使用します。ウェブカメラの使用についての詳細は、「[ウェブカメラの使用](#)」を参照してください。


外付けウェブカメラ

ウェブカメラの全機能を使用するには、お使いのウェブカメラに同梱のメディアを使用して、ドライバおよびその他必要なソフトウェアをインストールしてください。詳細については、ウェブカメラに付属のマニュアルを参照してください。

Bluetooth のセットアップ


ワイヤレスをオンにすることによって、コンピュータで Bluetooth を有効にすることができます。ノートブックとタブレットのほとんどは、Bluetooth カードが内蔵された状態で出荷されています。

コンピュータまたはタブレットとデバイスをペアリングするには、「[Bluetooth の使用](#)」を参照してください。

 **メモ**：コンピュータまたはタブレットに内蔵 Bluetooth カードが装備されているかどうかを確認するには、www.dell.com/support でコンピュータまたはタブレットの Specifications (仕様) を参照してください。

Intel RealSense 3D カメラのセットアップ

Intel RealSense 3D カメラで写真を撮影したり、ビデオを録画したりします。Intel RealSense Snapshot で撮られた写真に、奥行きまたはモーションエフェクトを適用することができます。Intel App Showcase では Intel RealSense 3D カメラを活用するためにダウンロードできるアプリのライブラリへのアクセスを提供しています。

 **メモ**：コンピュータやタブレットによっては、Intel RealSense をサポートしていない場合があります。詳細については、www.intel.com を参照してください。

コンピュータについて

電源アダプタ

電源アダプタは、ポータブルコンピュータ、タブレット、特定のデスクトップコンピュータへの電力供給に使用されます。Dell 電源アダプタキットには、電源アダプタと電源ケーブルが入っています。電源アダプタの電力定格（65 W、90 W など）は使用されるデバイスによって異なり、電源ケーブルも電源アダプタの出荷先の国によって異なります。

△ **注意：お使いのコンピュータの損傷を避けるため、コンピュータに同梱の電源アダプタ、またはデル承認済みの交換用電源アダプタのみを使用してください。**



バッテリー

バッテリーは、主に 45 WHr、65 WHr などの電力定格によって分類されます。デバイスをコンセントに接続していない場合は、バッテリーでデバイスを使用できます。

バッテリーのライフサイクルとは、動作時間に大きな影響を与えることなく放電と再充電を繰り返すことができる回数です。バッテリーライフサイクルの寿命に達したら、バッテリーを交換する必要があります。

コンピュータのモデルによっては、搭載されているバッテリーがユーザー交換可能である場合や、デルサービス技術者による交換が必要となる場合があります。

- ✍ **メモ**：大容量バッテリーは、一般的に容量の小さいバッテリーと比べて充電する頻度が低くなることから、ライフサイクルが長くなります。
- ✍ **メモ**：バッテリー寿命を向上させるヒントについては、「[バッテリー寿命の向上](#)」を参照してください。

コイン型電池


コイン型電池はコンピュータの電源がオフの場合も、CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) チップに電力を供給します。CMOS チップには、時刻、日付、お使いのコンピュータのその他の設定情報が含まれます。

通常の使用状況では、コイン型電池は数年間持続します。コイン型電池の寿命は、システム基板の種類、温度、コンピュータの電源がオフの時間などの要因に影響を受けます。



タッチパッド

タッチパッドはほとんどのノートブックで使用可能で、マウスの機能を提供します。表面は、指の動きや位置を感知するタッチセンサーになっています。タッチパッドでカーソルを動かしたり、選択した項目をドラッグまたは移動したり、表面をタップしてクリックしたりできます。ジェスチャー機能対応タッチパッドはズーム、ピンチ、回転、スクロールなどのジェスチャーに対応しています。外部タッチパッドを購入することもできます。Precision タッチパッドは、高精度なポインタ入力とジェスチャー機能を提供する新しいクラスの入力デバイスです。Precision タッチパッドは、ドライバなしで直接オペレーティングシステムと相互作用します。

 **メモ**：タッチパッドの使用についての詳細は、「[タッチパッドの使用](#)」を参照してください。


ディスプレイ


ディスプレイは、画面のサイズ、解像度、色域などに基づいて分類されます。一般的に解像度が高くより多くの色に対応する画面が、より良い画質を提供します。一部の外部ディスプレイには USB ポート、メディアカードリーダーなども含まれます。

ディスプレイが、タッチスクリーン、3D、ワイヤレス接続などの機能をサポートしている場合もあります。

タッチスクリーン


タッチスクリーンは、マウスやタッチパッド、キーボードの代わりに、ディスプレイにタッチすることで、画面上のオブジェクトとの相互作用を実現するディスプレイデバイスです。タッチスクリーンは、指やタッチペンなどの受動オブジェクトで操作できます。タッチスクリーンは通常、携帯電話、タブレット、コンピュータなどに使用されます。一般的に使用されるタッチスクリーン技術は、静電容量式および抵抗膜方式です。

 **メモ**：コンピュータによっては、タッチスクリーンをサポートしていない場合もあります。

 **メモ**：タッチスクリーンの使用についての詳細は、「[タッチスクリーンの使用](#)」を参照してください。

3D

3D 対応ディスプレイでは 3D イメージと動画を表示できます。左右の目に別々の 2D イメージを見せることにより、3D が機能します。2D イメージは脳で組み合わせられ、奥行きのある1つの画像として解釈されます。

 **メモ**：3D イメージの閲覧を可能にするには、専用の 3D メガネが必要になる場合があります。

カメラ

ウェブカメラ

ビデオチャット、写真撮影、およびビデオ録画ができます。

3D カメラ


3D カメラでは、三次元の画像をキャプチャしてストリーミングできるため、対象物までの距離、対象物のサイズ、寸法を内蔵センサーを通して把握することができます。これにより、ビデオ会議やオンラインゲームなどでよりインタラクティブな体験が可能になります。

Intel RealSense 3D カメラ

RealSense カメラの特徴は3つのレンズで、通常の写真および動画用の標準の2D カメラ、赤外線カメラ、赤外線レーザープロジェクタの機能を兼ね備えています。赤外線パーツによって RealSense は対象物の間の距離を見ることができ、対象物を背景レイヤーから切り離し、従来のカメラよりもオブジェクト、顔、ジェスチャーをより良く認識できます。デバイスは3つの特徴（前向き、後ろ向き、スナップショット）に分けられます。

ワイヤレスディスプレイ

ワイヤレスディスプレイ機能があれば、ケーブルを使用せずにコンピュータディスプレイを互換性のある TV と共有することができます。お使いの TV がこの機能をサポートしているかどうかを確認するには、TV のマニュアルを参照してください。

 **メモ**：コンピュータによっては、ワイヤレスディスプレイをサポートしていない場合もあります。詳細については、www.intel.com を参照してください。

キーボード

キーボードがあれば文字を入力したり、ショートカットキーを使用して特定の機能を実行したりできます。使用可能なキーと文字の数はキーボードの出荷先の国によって異なる場合があります。

ノートブックにはキーボードが搭載されています。タブレットには通常オンスクリーンキーボードが搭載されており、一部のタブレットは外部キーボードもサポートしています。Dell デスクトップは USB またはワイヤレス信号を使用して外部キーボードを接続します。

キーボード上で使用できる共通キーは次のとおりです。

- 英字、数字、句読点、および記号を入力するための英数字キー
- マルチメディアおよびアプリケーションのショートカットキー
- <Ctrl>、<Alt>、<Esc>、Windows キーなどの制御キー

- 特定のタスクを実行したり、特定の機能を起動するショートカットキー
- ファンクションキー (<F1>～<F12>)
- 次のようなドキュメントやウィンドウ内でカーソルを移動するナビゲーションキー：<Home>、<End>、<Page Up>、<Page Down>、<Delete>、<Insert>、および矢印キー

物理キーボード

物理キーボードはノートパソコンやデスクトップコンピュータで使用されます。ノートブックには通常、キーボードが搭載されています。外部キーボードは、一般的にデスクトップコンピュータで使用されます。一部のキーボードには、ボリューム調整用のキー、アプリケーションのショートカット、内蔵タッチパッド、プログラマブルショートカットキー、背面ライトなどの機能がある場合があります。




キーボード背面ライト

一部の物理キーボードにある背面ライトは、キーの記号を照らすことによって、暗い環境でもキーボードを使用できます。背面ライトは手動でオンにしたり、暗い環境でコンピュータを使用すると自動的にオンにするよう、設定することができます。



Dell ノートパソコンの背面ライト付きキーボードには異なるライティングステータスがあります。<Fn> と右矢印キーを押すと、様々なライティングステータスに切り替えることができます。

 **メモ**：コンピュータによっては、背面ライト付きキーボードが使用できない場合もあります。お使いのコンピュータで背面ライト付きキーボードが使用可能かどうかを確認するには、www.dell.com/support でお使いのコンピュータの Specifications（仕様）参照してください。

オンスクリーンキーボード

オンスクリーンキーボードは、ほぼすべてのコンピュータおよびタブレットで利用できますが、通常はタブレットやオールインワンコンピュータなどのタッチスクリーンデバイスで使用されます。マウスを使用するか、またはタッチスクリーンのキーをタッチしてキーを選択できます。

キーボードの接続タイプ

キーボードはケーブル（有線）またはワイヤレス信号（ワイヤレス）を使用してコンピュータに接続することができます。

有線

有線キーボードはケーブル（通常 USB）を使用して接続され、バッテリーなどの追加の電源は必要ありません。

ワイヤレス

ワイヤレスキーボードは、無線周波数 (RF) または Bluetooth (BT) を使用してお使いのコンピュータに接続します。これによりケーブルの絡まりを解消し、コンピュータから数メートル内の使いやすい位置で柔軟にキーボードを使用することができます。このようなキーボードの動作にはバッテリーが必要です。

RF テクノロジーを使用しているキーボードには、通常お使いのコンピュータに接続する必要のあるレシーバーが同梱されています。Bluetooth キーボードは、コンピュータの内蔵 Bluetooth カードまたは外部 Bluetooth アダプタとペアリングできます。

サービスタグとエクスプレスサービスコード

お使いのコンピュータのサービスタグおよびエクスプレスサービスコードは、次のいずれかを使用して確認できます。


- コンピュータまたはタブレットにあるラベル
- お使いのコンピュータの SupportAssist タイル詳細については、「[Dell SupportAssist](#)」を参照してください。
- www.dell.com/support のデルサポートサイト
- BIOS セットアッププログラム

コンピュータ上のラベルの位置

ノートブック – ノートブックの底面（システムバッジの下またはバッテリーベイ内）

デスクトップ – コンピュータシャーシの背面または上面

タブレット – タブレットの背面または底面


 **メモ**：お使いのデバイス上のラベルの具体的な位置については、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）、または、www.dell.com/support を参照してください。

デルサポートサイト

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. **Detect Product**（製品を検出）をクリックまたはタップして、画面に表示される指示に従います。

BIOS セットアッププログラム

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. Dell のロゴが表示されたら F2 プロンプトが表示されるまで待ち、表示されたらすぐに <F2> を押して BIOS セットアッププログラムを起動します

 **メモ**：F2 プロンプトは短い時間しかアクティブになりません。プロンプトを見逃した場合は、コンピュータがデスクトップまで起動するのを待ってから、コンピュータの電源を切ってもう一度やり直してください。

Main（メイン）タブに移動し、**Service Tag**（サービスタグ）を探します。BIOS セットアッププログラムの詳細については、www.dell.com/support でお使いのコンピュータの『Service Manual』（サービスマニュアル）を参照してください。

ストレージデバイス

ストレージデバイスは、後で使用できるようにデータを保存する場所です。ストレージデバイスには、内蔵タイプと外付けタイプの 2 種類があります。ほとんどのストレージデバイスは手動でデータを削除するまでデータを保存します。ストレージデバイスには、ハードディスクドライブ (HDD)、ソリッドステートドライブ (SSD)、光学ディスクドライブ、フラッシュドライブなどがあります。

内蔵ストレージデバイス

内蔵ストレージデバイスはお使いのコンピュータに取り付けられているため、通常はコンピュータの電源が入っているときに取り外すことはできません。最も一般的な内蔵ストレージデバイスは HDD と SSD です。

HDD と SSD は情報の転送に SATA インタフェースを使用します。SSD は HDD と物理的にも類似しており、既存のコンピュータと互換性があります。

HDD にはディスクプラッタがあるのに対して、SSD にはフラッシュメモリがあります。これにより SSD はより高速かつ静かになり、エネルギー効率が上がり、衝撃に強くなります。

リムーバブルストレージデバイス

コンピュータの電源を切らずにコンピュータから取り外しできるストレージデバイスをリムーバブルストレージデバイスと呼びます。一般的に使用されるリムーバブルストレージデバイスは次の通りです：

- 光学ディスク
- メモリカード
- フラッシュドライブ
- 外付けハードドライブ

光学ドライブと光学ディスク

お使いのコンピュータが、DVD RW または DVD RW と Blu-ray のコンボドライブをサポートしている場合があります。光学ディスクは、読み取り専用、ライトワンス、または書き替え可能です。

一般的なドライブタイプには以下が含まれます。

- Blu-rayライター – Blu-ray Disc、DVD、および CD の読み取りと書き込みを行います。
- Blu-rayリーダー + DVD RW コンボ – Blu-ray Disc を読み取ります。DVD および CD の読み取りと書き込みを行います。
- DVD RW – DVD と CD の読み取りと書き込みを行います。

メモリカード

メモリカードは、メディアまたはフラッシュカードとも呼ばれ、フラッシュメモリを使用してデータを保存します。書き替え可能で高速だけでなく、電源が切断されてもデータを維持します。メモリカードは、デジタルカメラ、携帯電話、メディアプレーヤー、ゲーム機などのデバイスで使用されます。お使いのコンピュータに、メモリカードの読み取りおよび書き込みを行うメディアカードリーダーがある場合があります。

一般的なメモリカードのタイプには以下が含まれます。

セキュアデジタル (SD)/セキュアデジタル大容量 (SDHC)



セキュアデジタル拡張容量 (SDXC) (ウルトラハイスピード (UHS) 対応カード)



セキュアデジタル miniSD



マルチメディアカード (MMC)



マルチメディアカードプラス (MMC+)



MMC (マルチメディアカード) モバイル



RS MMC



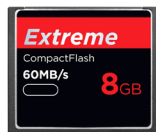
Extreme Digital (xD)



メモリスティック XC (MSXC)



コンパクトフラッシュ I、II/コンパクトフラッシュ MD



メモリスティック Duo



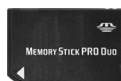
メモリスティック PRO Duo



メモリスティック Pro-HG Duo



メモリスティック (MS)/メモリスティック Pro (MS Pro)



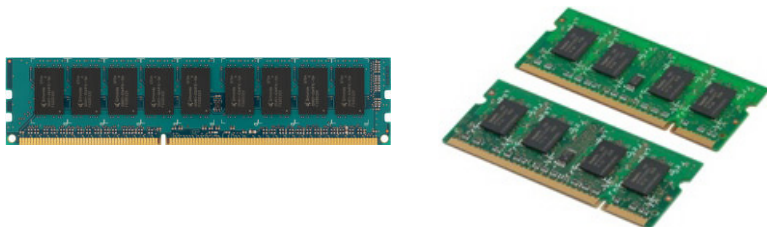
スマートメディア/スマートメディア XD



メモリモジュール

メモリモジュールはお使いのコンピュータがタスクを実行するために必要な一時データを保存します。すべてのファイルまたはアプリケーションをメモリモジュールにロードしてから、開いたり使用したりできます。メモリモジュールは容量 (GB) および速度 (MHz) に基づいて分類されます。高速で容量の大きいメモリは、一般的により高いパフォーマンスを実現します。一般的なメモリモジュールの種類：

- デュアルインラインメモリモジュール (DIMM) - デスクトップコンピュータで使用されます。
- SODIMM (Small Outline Dual In-line Memory Module) - DIMM よりサイズが小さなタイプです。通常はノートパソコンで使用されますが、SODIMM は小型のデスクトップやオールインワンコンピュータで使用されることもあります。



システム基板

システム基板は、コンピュータの中心部を形成します。各デバイスは、システム基板に接続することによって、相互に作用するようになります。システム基板には、各種コントローラとコネクタがあり、コンピュータ内のコンポーネント間でデータ交換することができます。システム基板にはグラフィック、サウンド、ネットワーク機能が統合されている場合もあります。

システム基板の重要なコンポーネントには以下が含まれます。

- プロセッサソケット
- メモリモジュールコネクタ
- 拡張カードスロット
- BIOS 保存用の CMOS

チップセット

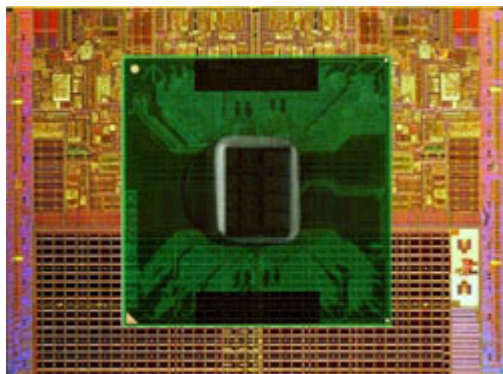
チップセットはシステム基板のコンポーネントを制御し、各種コンポーネント間の通信を可能にします。通常、チップセットはシステム基板に搭載されていますが、一部の新世代プロセッサでは、チップセットがプロセッサに内蔵されている場合があります。

プロセッサ

プロセッサは、アプリケーションからデータおよび命令を受け取り、ソフトウェアが要求したとおりにデータを処理します。

プロセッサは、デスクトップ、ノートブック、モバイルデバイスなど専用に設計されています。一般的に、1つのタイプのデバイス用に設計されたプロセッサを、他のタイプのデバイスで使用することはできません。

ノートブックおよびモバイルデバイス用に設計されたプロセッサは、デスクトップやサーバー用に設計されたプロセッサに比べて消費する電力が少なくなります。



プロセッサは、主に次の基準に基づいて分類されます。

- 処理コアの数
- ギガヘルツ (GHz) またはメガヘルツ (MHz) で測定された速度または周波数
- 組み込みメモリ (キャッシュ)

これらのアスペクトによってもプロセッサの性能が左右されます。一般的に値が高いほど性能が良いことを示します。一部のプロセッサはシステム基板に内蔵されている場合があります。

プロセッサメーカーには、Intel、AMD、Qualcomm などがあります。

コンピュータファン

コンピュータファンは、熱い空気を逃がすことにより、コンピュータの内部コンポーネントを冷却する装置です。コンピュータファンは通常、電力消費が高く、大量の熱を放出するコンポーネントの冷却に使用されます。コンポーネントを冷却することにより、加熱、誤動作、損傷を防ぎます。

ヒートシンク

ヒートシンクは、プロセッサ、一部のハイエンドなグラフィックスカード、オンボードチップセットが放出する熱を分散するために使用されます。一般的にヒートシンクには、上部または側面に空気の循環を促進させるファンが搭載されています。

ヒートシンクは金属の塊ではなく、フィンまたはブレードで構成されています。これにより、表面領域の熱分散が促進されます。プロセッサまたはグラフィックスカードとヒートシンクの間には、サーマルグリースが層状に塗布されており、熱交換を促します。





サーマルグリース

サーマルグリースはサーマルジェルやサーマル化合物とも呼ばれ、プロセッサとヒートシンクの間に熱誘導層を作るために使用されます。プロセッサとヒートシンクの間にサーマルグリースを塗布すると、サーマルグリースは空気より伝導性に優れているため、プロセッサからヒートシンクへの熱伝導が促進されます。

ビデオカード


ビデオカードはグラフィックスデータを処理し、ビデオ出力をモニタやプロジェクタなどのディスプレイデバイスに送信します。

ビデオカードには次の2つのタイプがあります。

- **内蔵** – オンボードビデオカードとも呼ばれ、システム基板に内蔵されています。一部のコンピュータでは、ビデオカードはプロセッサに内蔵されています。内蔵ビデオカードは一般的にシステムメモリ (RAM) を共有し、プロセッサを利用してビデオ処理を実行する場合があります。

アクセラレーテッドプロセッシングユニット (APU) は、プロセッサと同じダイ上に内蔵され、より優れたデータ転送率を提供するとともに消費電力を削減します。

- **外付け** – 外付けビデオカードはシステム基板上に別個に取り付けられます。外付けビデオカードには専用メモリがあり、一般的に内蔵ビデオカードより高いパフォーマンスを提供します。外付けビデオカードは、グラフィックの多いアプリケーションや高解像度のビデオゲームなどに適しています。

 **メモ**：外付けビデオカードが、内蔵ビデオカードも内蔵したコンピュータに取り付けられると、内蔵ビデオカードがデフォルトで無効に設定されます。使用するカードの選択には BIOS セットアッププログラムを使用します。

消費電力の低い内蔵グラフィックスチップと、消費電力の高い外付けグラフィックスカードの両方を装備したコンピュータでは、スイッチャブルグラフィックスを使用することにより、負荷および要件に応じてそれらのカードを切り替えることができます。

TV チューナー

TV チューナーがあれば、コンピュータでテレビを視聴することができます。TV チューナーは内部または外部デバイスとしてデスクトップやノートブックに使用できます。

メモ：一部のコンピュータでは TV チューナーがサポートされません。

内蔵

- PCI-E
- PCI

外付け

- USB
- PC カード
- ExpressCard



TV チューナーはほとんどが独立していますが、ビデオカードに内蔵されている TV チューナーもあります。

TV チューナーの使用についての詳細は、TV チューナーのマニュアルを参照してください。

スピーカー

ノートブックやタブレットにはオーディオ出力用にスピーカーが内蔵されています。デスクトップにもスピーカーが内蔵されていますが、エラーや障害を知らせるビープ音の発生にのみ使用されます。

外部スピーカーをお使いのコンピュータまたはタブレットに接続することもできます。スピーカーは 3.5 mm オーディオコネクタ、USB、ワイヤレス接続でコンピュータに接続できます。

スピーカーは一般的に、2、2.1、5.1、7.1 などのサポートするオーディオチャンネルの数によって分類されます。小数点の前の数字はチャンネル数を示し、小数点の後の数字はサブウーハーを示します。

メモ：5.1/7.1 チャンネルオーディオを出力するには、お使いのサウンドカードとスピーカーが 5.1/7.1 チャンネルをサポートしている必要があります。



2.1 オーディオ

2.1 は、2 台のスピーカー（左および右チャンネル）と 1 台のサブウーハーで構成されるシステムを示しています。

5.1 オーディオ

5.1 は、多くのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャンネルの数を表しています。5.1 オーディオシステムは、5 個のメインオーディオチャンネル（左前部、右前部、中央、左サラウンド、右サラウンド）と低周波オーディオチャンネル 1 個を使用しています。

7.1 オーディオ

7.1 は、ハイエンドのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャンネルの数を表しています。7.1 オーディオシステムは、2 つの追加スピーカー（左後部と右後部）を 5.1 オーディオシステムと組み合わせて、使用します。オーディオのセットアップについての詳細は、「[オーディオのセットアップ](#)」を参照してください。

ウェブカメラ

ウェブカメラは動画や写真を撮影でき、ビデオ会議にも使用できます。ディスプレイにウェブカメラが内蔵されていることもありますが、外付けのウェブカメラをコンピュータに接続することもできます。カメラの品質は、主に撮影できるピクセル数によって決まります。

ウェブカメラを使用するには、ウェブカメラのドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。通常、ウェブカメラをコンピュータと一緒に注文した場合は、コンピュータの受け取り時にドライバとソフトウェアがインストールされています。ウェブカメラの使用についての詳細は、「[ウェブカメラの使用](#)」を参照してください。

ネットワーク

ネットワークを使用して、お使いのデバイスを相互に接続したり、インターネットに接続したりできます。これらのデバイスには、コンピュータ、タブレット、電話、プリンタ、その他の周辺機器が含まれます。ネットワークのセットアップは、ケーブル (LAN) またはワイヤレスデバイス (WLAN) を使用することができます。ネットワークは、Ethernet、Wi-Fi、WWAN、Bluetooth などを使用してセットアップできます。

ローカルエリアネットワーク (LAN)

デバイスは Ethernet ケーブルを使用して接続され、住宅や建物など比較的小さい領域が対象となります。

ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)

デバイスはワイヤレスで接続され、住宅や建物など比較的小さい領域が対象となります。WLAN のセットアップに使用されるワイヤレス接続は、通常 Wi-Fi (802.11x の場合 x は異なる 802.11 プロトコルを示します) です。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)

モバイルブロードバンドとしても知られているこのサービスは、通常モバイルデバイスでの使用向けに電話会社によって提供されています。このネットワークに接続するには、モバイルデバイスまたはノートブックが WWAN テクノロジーに対応している必要があります。

ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN)

デバイスは通常 Bluetooth、RF、近距離無線通信 (NFC) などを使用してワイヤレスで接続されます。一般的に、このタイプのネットワークはデバイスから数フィートの範囲内で動作します。お使いのコンピュータまたはタブレットをインターネットに接続するには、「[インターネットへの接続](#)」を参照してください。

モデム

モデムの使用により、コンピュータまたはルーターをインターネットに接続することができます。モデムには、アナログ（ダイヤルアップ）とデジタル（DSL または ケーブル）があります。一般的に、DSL または ケーブルモデムはインターネットサービスプロバイダが提供します。

- **ダイヤルアップモデム** – アナログの電話信号をコンピュータが処理できるデジタル信号に変換したり、デジタルコンピュータ信号を電話回線経由で伝送できるアナログ信号に変換する電子機器です。ダイヤルアップモデムには、内蔵型と外付けがあります。
- **デジタルモデム** – デジタル電話線（デジタル加入者線 (DSL) やサービス総合デジタル網 (ISDN) など）に対するデータの送受信に使用されます。

ルーター

ルーターは、コンピュータネットワーク間でデータを転送するデバイスです。

最も身近なルーターのタイプは、複数デバイス間で同時にインターネット接続を共有できるホームまたは小規模オフィスルーターです。

ルーターには有線または無線があります。有線ルーターでは、Ethernet (RJ45) ケーブルを使用してコンピュータに接続することができます。ほとんどの有線ホームルーターには 4 つのポートがあり、最大で 4 台のコンピュータを同時にインターネットに接続できます。Wi-Fi テクノロジーを使用する無線ルーターでは、お使いの携帯電話、タブレット、コンピュータ、その他のデバイスを無線でネットワークに接続できます。無線ルーターは同時に複数のデバイスに接続できます。詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。

ネットワークインタフェースコントローラ (NIC)

ネットワークインタフェースコントローラ (NIC) は、ネットワークアダプタまたはローカルエリアネットワーク (LAN) アダプタとも呼ばれ、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。NIC には内蔵（システム基板上に統合）、または外付け（拡張カード）があります。最新のコンピュータにはネットワークアダプタが内蔵されています。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) アダプタ

WLAN アダプタは Wi-Fi テクノロジーを使用し、お使いのデバイスを無線ルーターに接続できます。お使いのコンピュータには、内蔵（拡張カードまたはシステム基板上に統合）、または外付け WLAN アダプタがある場合があります。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) アダプタ

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) コントローラでは、中継塔テクノロジーを使用してワイヤレス接続を可能にします。このテクノロジーは、主に携帯電話、タブレット、ビジネスクラスのノートブックで使用できます。WWAN 接続には、SIM カードとサービス契約が必要な場合があります。

Bluetooth

Bluetooth では、他の Bluetooth 対応デバイスをお使いのコンピュータやタブレットに短距離で接続できます。Bluetooth デバイスには、携帯電話、ヘッドセット、キーボード、マウス、プリンタなどが含まれます。Bluetooth アダプタは内蔵（拡張カードまたはシステム基板上に統合）、または外付けのいずれかになります。

エンタープライズルーターなどのより高性能なルーターは、データをインターネットバックボーンの光ファイバ回線に沿って高速に転送する強力なコアルーターに大企業または ISP ネットワークを接続します。

近距離無線通信

近距離無線通信 (NFC) では、2 つのデバイスを互いにタッチさせたり、近接させたりすることで、データを交換できます。NFC 対応デバイスを使用して、NFC タグの読み取り、支払い、互換デバイス間のファイルの共有などを行えます。



NFC 対応の Dell ノートブックおよびタブレットでは、ワイヤレスがオンになるとデフォルトで NFC が有効になります。

- ✎ **メモ**：NFC 対応デバイスをコンピュータまたはタブレットに接続する方法については、お使いのデバイスのマニュアルを参照してください。
- ✎ **メモ**：ファイル共有は、Windows オペレーティングシステムを使用しているデバイス間でのみ機能します。

コンピュータの使用

バッテリーの充電

電源アダプタをお使いのコンピュータまたはタブレットに接続して、バッテリーを充電します。コンピュータまたはタブレットの使用時または電源オフ時にバッテリーが充電されます。バッテリーの内部回路は、バッテリーの過充電を防ぎます。

-  **メモ**：環境温度が高いためバッテリーが熱くなりすぎている場合は、電源アダプタを接続しても充電されないことがあります。バッテリーの温度が下がるのを待ってから、再充電してください。
-  **メモ**：お使いのコンピュータのバッテリー寿命を向上させる手順については、「[バッテリー寿命の向上](#)」を参照してください。

キーボードの使用

物理キーボードのキーを押すか、オンスクリーンキーボードの文字をタップして、テキストの入力、およびその他機能を実行します。

キーボードショートカット

ノートブックのキーボードの一部のキーと、一部の外部キーボードでは、<Fn> のような特別なキーと一緒に押すと、2 つ以上の機能を実行できます。一部のコンピュータでは、BIOS セットアッププログラムまたはキーボードショートカットを使用して、キーのデフォルト動作を選択できます。

<Ctrl>+<Shift>+<Esc>

Task Manager (タスクマネージャ) ウィンドウを開きます。

<Fn>+<F8>

ディスプレイデバイスを切り替えます (メインディスプレイのみ、複製、両方のディスプレイに拡張、セカンダリディスプレイのみ)。

目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。

<Fn>+ 上矢印キー

内蔵ディスプレイの輝度を上げます (外付けディスプレイには適用されません)。

<Fn>+ 下矢印キー

内蔵ディスプレイの輝度を下げます (外付けディスプレイには適用されません)。

Windows +<L>

システムをロックします。

<Fn>+<Esc>	電源管理モードを起動します。キーボードのショートカットを再プログラムして、異なる電源管理モードを有効にできます。この場合、 電源オプションプロパティ ウィンドウの 詳細 タブを使用します。
<F2>	選択されたアイテムの名前を変更します。
<F3>	ファイルまたはフォルダを検索します。
<F4>	Windows Explorer にアドレスバーのドロップダウンを表示します。
<F5>	アクティブなウィンドウを更新します。
<F6>	ウィンドウまたはデスクトップの画面要素を順に表示します。
<F10>	アクティブなプログラムでメニューバーをアクティブ化します。
<Ctrl>+<c>	選択されたアイテムをコピーします。
<Ctrl>+<x>	選択されたアイテムを切り取ります。
<Ctrl>+<v>	選択されたアイテムを貼り付けます。
<Ctrl>+<z>	操作を取り消します。
<Ctrl>+<a>	文書またはウィンドウ内のすべてのアイテムを選択します。
<Ctrl>+<F4>	複数の文書を同時に開くことができるプログラムで、アクティブなウィンドウを閉じます。
<Ctrl>+<Alt>+<Tab>	矢印キーを使用して開いているアイテムを切り替えます。
<Alt>+<Tab>	開いているアプリケーションを切り替えます。
<Alt>+<Esc>	開かれた順にアイテムを表示します。
<Delete>	選択されたアイテムを削除し、ごみ箱に移動します。
<Shift>+<Delete>	選択されたアイテムをごみ箱に移動せずに削除します。 注意： この方法で削除されたファイルは、ごみ箱から元に戻すことができません。
<Ctrl>+ 右矢印キー	カーソルを次の語句の先頭へ移動します。

<Ctrl>+ 左矢印キー	カーソルを前の語句の先頭へ移動します。
<Ctrl>+ 下矢印キー	カーソルを次の段落の先頭へ移動します。
<Ctrl>+ 上矢印キー	カーソルを前の段落の先頭へ移動します。
<Ctrl>+<Shift>+ 矢印キー	まとまったテキストを選択します。
<Shift>+ 矢印キー	ウィンドウまたはデスクトップで複数のアイテムを選択します。または、文書内のテキストを選択します。
Windows キー +<m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows キー +<Shift>+<m>	最小化されたすべてのウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows キーと <m> キーの組み合わせを使用する度に、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして動作します。
Windows キー +<e>	Windows Explorer を開きます。
Windows キー +<r>	Run (実行) ダイアログボックスを開きます。
Windows キー +<f>	Search Results (検索結果) ダイアログボックスを開きます。
Windows キー +<Ctrl>+<f>	Search Results-Computer (検索結果-コンピュータ) ダイアログボックスを開きます (コンピュータがネットワークに接続されている場合)。
Windows キー +<Pause>	System Properties (システムのプロパティ) ダイアログボックスを開きます。

キーボードショートカット – Windows 8.1/Windows RT

この表は、Windows 8.1 および Windows RT 固有のキーボードショートカットの一部を示しています。以下のキーボードショートカットは、Windows の前のバージョンですでに使用可能なキーボードショートカットに追加されます。

Windows キーを押して入力を開始	お使いのコンピュータを検索します。
<Ctrl>+<+>	スタート画面にピン留めされているアプリなど、画面上の多数のアイテムを拡大表示します。
<Ctrl>+<->	スタート画面にピン留めされているアプリなど、画面上の多数のアイテムを縮小表示します。
Windows キー +<c>	チャームを開きます。
Windows キー +<f>	検索チャームを開き、コンピュータ上のファイルを検索します。
Windows キー +<h>	検索チャームを開きます。
Windows キー +<i>	設定チャームを開きます。
Windows キー +<j>	メインアプリとスナップアプリを切り替えます。
Windows キー +<k>	デバイスチャームを開きます。
Windows キー +<o>	画面の向き（横方向または縦方向）を固定します。
Windows キー +<q>	検索チャームを開いて、コンピュータ上のアプリを検索します。
Windows キー +<w>	検索チャームを開いて、コンピュータ設定を検索します。
Windows キー +<z>	アプリで使用できるオプションを表示します。
Windows キー + スペースバー	入力言語とキーボードレイアウトを切り替えます。
Windows キー +<Ctrl>+ スペースバー	以前選択した入力言語とキーボードレイアウトに切り替えます。

Windows キー +<Tab>	画面左側の縦のサイドバーに開いているアプリを表示しながら、アプリを切り替えます。
Windows キー +<Ctrl>+<Tab>	開いているアプリのサイドバーを表示して、キーを放しても画面にサイドバーを残します。上/下矢印を使用して開いているアプリを検索できます。
Windows キー +<Shift>+<. >	アプリケーションを左側にスナップします。
Windows キー +<. >	開いているアプリを切り替えます。

 **メモ**：お使いのコンピュータで使用できる特殊なショートカットキーについては、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または www.dell.com/support を参照してください。

キーボードのカスタマイズ


キーボードは次のようにカスタマイズすることができます。

- キーを押し続けた時にキーボードの文字が繰り返されるまでの時間を変更
- キーボードの文字が繰り返される速度を変更
- カーソルの点滅率を変更
- 入力言語のキーシーケンスを変更

キーボードをカスタマイズするには、次の手順を実行します。


Windows 10/8.1

1. 検索ボックスに**コントロールパネル**と入力します。

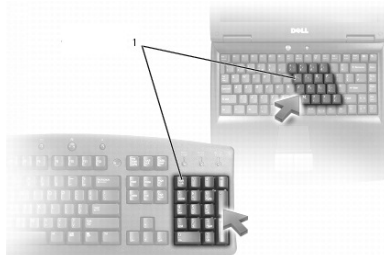
 **メモ**：Windows 10 の場合は、検索アイコンをクリックまたはタップして検索ボックスにアクセスします。Windows 8.1 の場合は、検索チャームにアクセスして検索ボックスにアクセスします。

2. **コントロールパネル** をクリックします。
3. コントロールパネルがカテゴリ別に表示されている場合は、**表示ドロップ**ダウンメニューをクリックまたはタップして、**小アイコン**または**大アイコン**を選択します。
4. **キーボード** をクリックまたはタップします。
5. 変更したいキーボードの設定を調整し、**OK** をクリックまたはタップして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

Windows 7


1. スタート  → コントロールパネルの順にクリックします。
2. コントロールパネルがカテゴリ別に表示されている場合は、表示ドロップダウンメニューをクリックして小アイコンまたは大アイコンを選択します。
3. キーボード をクリックします。
4. 変更したいキーボードの設定を調整し、OK をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。


ノートブックのテンキーパッドの使用



1 テンキーパッド

ノートブックでは、キーボードにテンキーパッドが統合されている場合があります。このキーパッドは、拡張キーボードのキーパッドと対応しています。

- 数字または記号を入力するには、<Fn> キーを押しながら希望するキーを押します。
- テンキーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。  のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- テンキーパッドを無効にするには、もう一度 <Num lock> を押します。

 **メモ**：一部のノートブックには、専用テンキーパッドが装備されてる場合があります。

タッチパッドの使用

カーソルの移動や画面上のオブジェクトの選択には、タッチパッドを使用します。

- カーソルを動かすには、タッチパッドの上で指を静かにスライドさせます。
- オブジェクトを左クリック、または選択するには、左のタッチパッドボタンを押すか、タッチパッドを1回タップします。

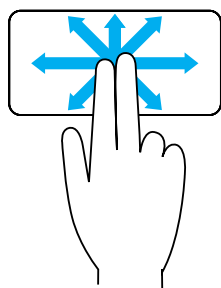
- オブジェクトを右クリックするには、右のタッチパッドボタンを 1 回タップします。
- オブジェクトをダブルクリックするには、左のタッチパッドボタンを 2 回押すか、タッチパッドを 2 回タップします。
- オブジェクトを選択して移動（ドラッグ）させるには、オブジェクトの上にカーソルを置き、タッチパッドをすばやく 2 回タップしてから指を離さずに画面で指をスライドさせて、選択したオブジェクトを移動させます。

タッチパッドの動作

- ✍ **メモ**：お使いのコンピュータでは、一部のタッチパッドの動作をサポートしていない場合もあります。
- ✍ **メモ**：タッチパッドの動作の設定は、タスクトレイでタッチパッドのアイコンをダブルクリックすることによって変更できます。

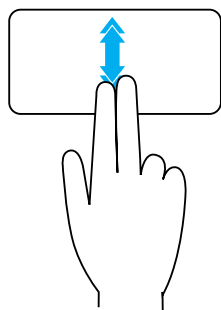
お使いのコンピュータでは、**スクロール**、**ズーム**、**回転**、**フリック**、**クイック起動**ジェスチャがサポートされている場合があります。

スクロール



パン – オブジェクト全体が見えない場合に、選択されたオブジェクトに焦点を当てることができます。

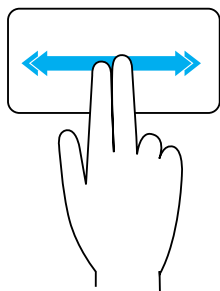
2 本の指を希望の方向に動かして選択されたオブジェクトにスクロールしてパンします。



自動縦スクロール – アクティブなウィンドウを上または下方向にスクロールできます。

自動縦スクロールは、2 本の指をすばやく上または下に動かして開始します。

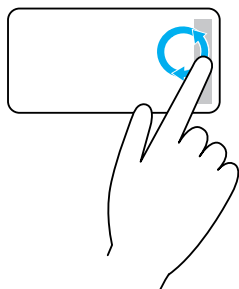
タッチパッドで指をタップさせると、自動スクロールが停止します。



自動横スクロール – アクティブなウィンドウを左または右方向にスクロールできます。

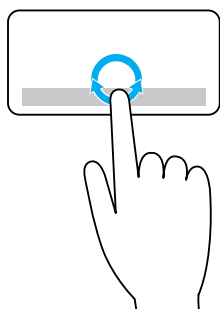
自動横スクロールは、2本の指をすばやく左または右に動かして開始します。

タッチパッドで指をトントンとタップさせると、自動スクロールが停止します。



円形上/下スクロール – 上/下方向にスクロールできます。

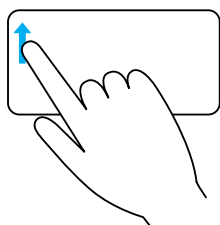
タッチパッドの右端の縦スクロールゾーンで、指を時計回りに動かして上方向、反時計回りに動かして下方向にスクロールします。



円形左/右スクロール – 左/右方向にスクロールできます。

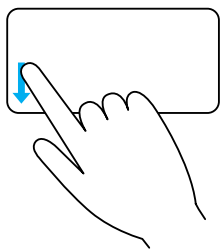
タッチパッドの下部の横スクロールゾーンで、指を時計回りに動かして右、反時計回りに動かして左にスクロールします。

ズーム

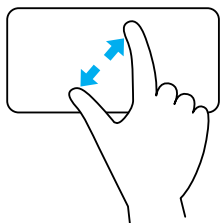


ワンフィンガーズーム – ズームゾーン（タッチパッドの左端）で1本の指を動かすことによって表示を拡大または縮小できます。

ズームゾーンで指を上方向に動かして拡大します。

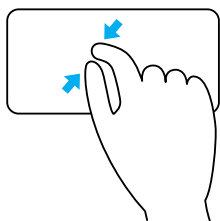


ズームゾーンで指を下方向に動かして縮小します。



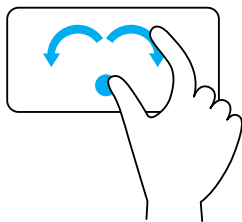
トゥーフingersズーム – 2本の指を使って表示を拡大または縮小できます。

タッチパッドに2本の指を置き、指と指を離して拡大します。



タッチパッドに2本の指を置き、指同士を近づけて縮小します。

回転

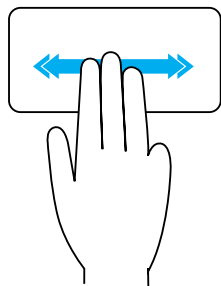


ツイスト – 2本の指を使ってアクティブなコンテンツを90度単位で回転させることができます。

親指を軸にして、人差し指を右または左に弧を描くように動かすことによって、選択したアイテムを時計回りまたは反時計回りに90度回転させることができます。

フリック

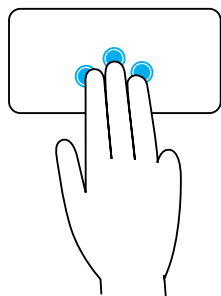
前後のコンテンツに素早く移動させることができます。



3本の指を左または右方向にすばやく動かして、前後のコンテンツに素早く移動します。

クイック起動

お気に入りのアプリケーションを開くことができます。



タッチパッドを3本の指でタップして、事前設定されたアプリケーションを起動します。

メモ：起動するアプリケーションを選択するには、タッチパッド設定ツールを使用します。

タッチスクリーンの使用

メモ：タッチスクリーンをほこりっぽい場所、高温または湿度の高い場所で使用することは避けてください。

メモ：温度の急変により画面の内部表面に結露が発生する原因となる場合があります。これは通常使用には影響せず、48時間以上コンピュータの電源をオンにしておくで消えます。

お使いのコンピュータまたはタブレットにタッチスクリーンディスプレイが搭載されている場合は、マウスやキーボードを使う代わりに、画面にタッチしてアイテムを操作できます。

タッチスクリーンを使用して実行できる基本的なタスクには、ファイル、フォルダ、およびアプリを開く操作や、ズームイン、ズームアウト、スクロール、イメージの回転などがあります。

ファイル、フォルダ、アプリケーションを開く、スクロールバーを使用してスクロールする、ウィンドウのボタンを使用してウィンドウを閉じたり最小化するなどの、通常はマウスを使って実行するタスクを実行することができます。

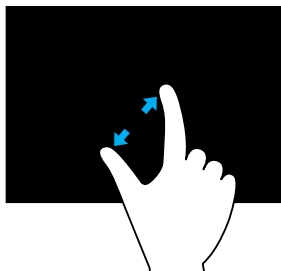
タッチスクリーンを使ってオンスクリーンキーボードを使用することもできます。

タッチスクリーンの動作

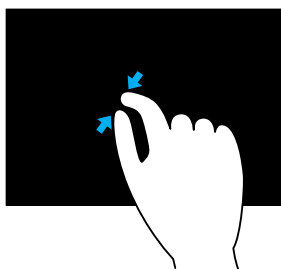
タッチスクリーンの動作では、ディスプレイ上での指のスライドまたはフリックによるズーム、スクロール、回転などのタスクの実行が可能になることから、タッチスクリーンの使い勝手が向上します。

メモ：一部のジェスチャはアプリケーション固有であるため、すべてのアプリケーションでは機能しない場合があります。

ズーム

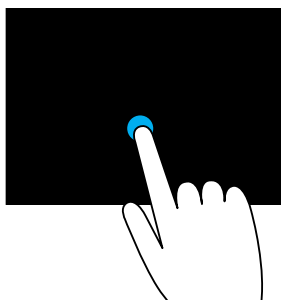


タッチスクリーンに 2 本の指を置き、指と指を離して拡大します。



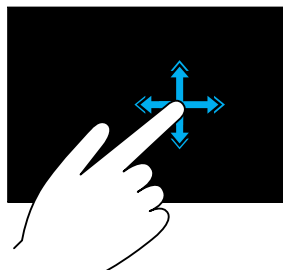
タッチスクリーンに 2 本の指を置き、指同士を近づけて縮小します。

停滞



タッチスクリーン上でアイテムを押し続けると、コンテキストメニューが開きます。

フリック



指を好きな方向に素早く動かして、本のページのようにアクティブウィンドウの内容をめくります。また、画像や再生リストの曲などのコンテンツをナビゲートする場合、縦方向にフリックします。

回転

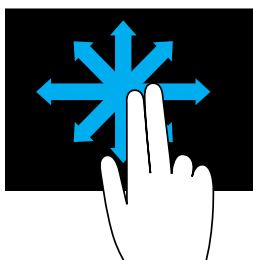


時計回りの回転 — 指または親指を軸にして、それ以外の指を右方向に弧を描くように動かします。

反時計回りの回転 — 指または親指を軸にして、それ以外の指を左方向に弧を描くように動かします。

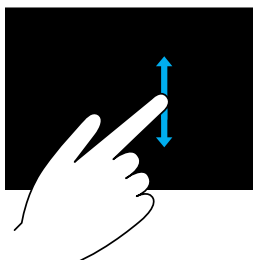
両方の指を円を描くように動かすことで、アクティブなコンテンツを回転させることもできます。

スクロール



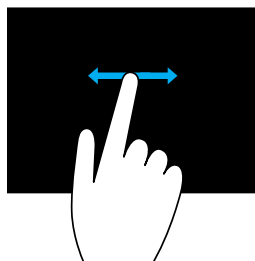
パン — オブジェクト全体が見えない場合に、選択されたオブジェクトに焦点を当てます。

2本の指を好きな方向に動かして、選択されたオブジェクトにパンします。



縦スクロール — アクティブなウィンドウを上または下方向にスクロールします。

縦スクロールは、指を上または下方向に動かして開始します。



横スクロール – アクティブなウィンドウを左または右方向にスクロールします。

横スクロールは、指を左または右方向に動かして開始します。

Bluetooth の使用

マウス、キーボード、ヘッドセット、携帯電話、TVなどの Bluetooth デバイスを接続（ペアリング）できます。お使いのコンピュータとのデバイスのペアリングに関する詳細は、デバイスのマニュアルを参照してください。

メモ：お使いのコンピュータに Bluetooth ドライバがインストールされていることを確認してください。

Bluetooth デバイスとコンピュータまたはタブレットのペアリング

Windows 10

1. ペアリングするコンピュータまたはタブレット、およびデバイスの Bluetooth を有効にします。

Dell ノートブックの場合は、ワイヤレスをオンにして Bluetooth を有効にします。お使いのデバイスの Bluetooth をオンにする手順については、デバイスに同梱のマニュアルを参照してください。

2. ディスプレイの右端からスワイプインして、**アクションセンター**を開きます。
3. **Bluetooth** を長押しして、**設定に進む**をタップします。
4. デバイスのリストからペアリングするデバイスをタップします。

メモ：お使いのデバイスがリストされていない場合は、そのデバイスが検出可能であることを確認してください。

5. 画面の指示に従って、ペアリング処理を完了します。


メモ：コンピュータまたはタブレット、およびデバイスにはパスコードが表示される場合があります。ペアリングが完了すると、デバイスのペアリングを確認するメッセージが表示されます。

Windows 8.1


1. ペアリングするコンピュータまたはタブレット、およびデバイスで Bluetooth を有効にします。

Dell ノートブックの場合は、ワイヤレスをオンにして Bluetooth を有効にします。お使いのデバイスの Bluetooth をオンにする手順については、デバイスに同梱のマニュアルを参照してください。


2. タスクバーのタスクトレイで Bluetooth アイコンを右クリックし、**デバイスの追加**をクリックまたはタップします。

 **メモ**：Bluetooth アイコンが見つからない場合は、タスクトレイの横にある矢印をクリックまたはタップしてください。

3. **デバイスの追加**ウィンドウでデバイスを選択し、**次へ**をクリックまたはタップします。

 **メモ**：お使いのデバイスがリストされていない場合は、そのデバイスが検出可能であることを確認してください。

4. 画面の指示に従って、ペアリング処理を完了します。


 **メモ**：コンピュータまたはタブレット、およびデバイスにはパスコードが表示される場合があります。

ペアリングが完了すると、デバイスのペアリングを確認するメッセージが表示されます。

Windows 7

1. ペアリングするコンピュータまたはタブレット、およびデバイスで Bluetooth を有効にします。

Dell ノートブックの場合は、ワイヤレスをオンにして Bluetooth を有効にします。お使いのデバイスの Bluetooth をオンにする手順については、デバイスに同梱のマニュアルを参照してください。



2. スタート  → **コントロールパネルの順にクリック**します。
3. コントロールパネルの検索ボックスに **Bluetooth** と入力して、**Bluetooth 設定の変更**をクリックします。
4. お使いのコンピュータが Bluetooth 対応デバイスを検知できるようにするには、**[Bluetooth デバイスがこのコンピュータを検出することを許可する]**のチェックボックスにチェックを入れます。

ウェブカメラの使用



お使いのコンピュータまたはディスプレイにウェブカメラが搭載されている場合は、工場出荷時にドライバがインストールされ設定されています。ビデオチャットまたはビデオキャプチャアプリケーションを起動すると、ウェブカメラが自動的にアクティブ化されます。

Dell Webcam Central (Windows 7 のみ) を使用して、ウェブカメラで静止画像およびビデオをキャプチャすることもできます。

静止画像のキャプチャ


1. Dell Webcam Central を起動します。
 2. **Snap Photos** (スナップ写真) タブをクリックまたはタップします。
 3. カメラアイコン  をクリックまたはタップして、静止画像をキャプチャします。
-  **メモ**：画像サイズ、セルフタイマー、バーストキャプチャ、イメージフォーマットなどのオプションを設定するには、カメラアイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックまたはタップします。

ビデオの録画

1. Dell Webcam Central を起動します。
 2. **Record Videos** (ビデオの録画) タブをクリックまたはタップします。
 3. 録画アイコン  をクリックまたはタップして、ビデオ録画を開始します。
 4. ビデオの録画が完了したら、録画アイコンをクリックまたはタップして録画を停止します。
-  **メモ**：ビデオサイズ、セルフタイマー、コマ撮り録画、ビデオ品質などのオプションを設定するには、録画アイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックまたはタップします。

カメラとマイクの選択


お使いのコンピュータに複数のウェブカメラまたはマイク（内蔵または外付け）がある場合は、Dell Webcam Central で使用するウェブカメラまたはマイクを選択することができます。

1. Dell Webcam Central を起動します。
2. ウィンドウの左下隅のカメラアイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックまたはタップします。
3. 使用したいカメラをクリックまたはタップします。
4. **Record Videos** (ビデオの録画) タブをクリックまたはタップします。
5. プレビューエリアの下のマイクアイコン  の横にあるドロップダウン矢印をクリックまたはタップします。
6. 使用したいマイクをクリックまたはタップします。

ポートおよびコネクタ

オーディオ

オーディオコネクタは、スピーカー、ヘッドフォン、マイク、サウンドシステム、アンプ、またはテレビのオーディオ出力への接続を可能にします。

 **メモ**：お使いのコンピュータが一部のオーディオポートをサポートしていない場合があります。お使いのコンピュータまたはタブレットで使用できるポートの詳細については、コンピュータまたはタブレットに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）、または www.dell.com/support の Specifications（仕様）を参照してください。

オーディオポートのタイプ



ヘッドフォンポート – ヘッドフォン、パワードスピーカー、またはサウンドシステムを接続します。



マイクポート – 声またはサウンド入力用の外付けマイクを接続します。



ライン入力ポート – カセットプレーヤ、CD プレーヤ、VCR などの録音 / 再生デバイスを接続します。



ライン出力ポート – ヘッドフォンまたはアンプ内蔵スピーカーを接続します。



リアサラウンド出力ポート – マルチチャンネル対応スピーカーを接続します。



センター /LFE サラウンド出力 – 単一のサブウーハーを接続します。

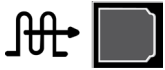
メモ：デジタルサラウンドサウンドオーディオ機構にある LFE（低周波エフェクト）オーディオチャンネルは、80 Hz 以下の低周波情報のみを伝送します。LFE チャンネルはサブウーハーを駆動し、極めて低い音域を拡張します。サブウーハーを使用しないシステムでは、サラウンドサウンドのセットアップで LFE の情報をメインスピーカーに切り替えることができます。



サイドサラウンドサウンドポート – 左 / 右のスピーカーを接続します。



RCA S/PDIF ポート – アナログオーディオの変換を必要とすることなくデジタルオーディオを送信します。



デジタル S/PDIF ポート – アナログオーディオの変換を必要とすることなく、光信号を使用してデジタルオーディオを送信します。

USB

USB（ユニバーサルシリアルバス）で周辺機器をコンピュータまたはタブレットに接続できます。周辺機器には、マウス、キーボード、プリンター、外付けドライブ、カメラ、携帯電話などがあります。

USB ポートは、コンピュータとデバイス間でのデータの転送、および対応デバイスの充電にも使用することができます。詳細については、お使いのデバイスのマニュアルを参照してください。

一部のコンピュータには、内蔵 PowerShare 機能を持つ USB ポートも装備されています。この機能を使用すると、コンピュータの電源が切れているときでも USB デバイスを充電できます。

USB ではプラグアンドプレイとホットスワップもサポートされます。

プラグアンドプレイ – コンピュータがデバイスを自動的に識別して設定することを可能にします。

ホットスワップ – コンピュータを再起動することなく、USB デバイスの取り外しと接続ができます。

USB ポート

標準 USB – 標準 USB ポートはほとんどのノートブックおよびデスクトップにあります。ほとんどの USB デバイスは、このポートを使用してコンピュータに接続されます。

ミニ USB – ミニ USB ポートは、カメラ、外付けストレージドライブ、タブレットなど小型の電子デバイスに使用されます。

マイクロ USB – マイクロ USB ポートはミニ USB ポートよりも小さいポートで、電話、タブレット、ワイヤレスヘッドフォン、およびその他小型電子デバイスに使用されます。

Powered USB – Powered USB ポートは、標準の USB よりも複雑なコネクタを使用します。基本的に、この USB には 1 つのケーブルに標準 USB プラグ用、および電源用の 2 つのコネクタがあります。これにより、別途電源装置を使用することなく、高電力デバイスを接続することが可能になります。バーコードリーダーやレシートプリンタなどの小売業向け機器に使用されています。

USB 標準


USB 3.1 – これは SuperSpeed USB とも呼ばれます。このポートはストレージデバイスやプリンタなどの周辺機器をサポートします。データ転送速度は 5 Gbps (USB 3.1 Gen 1) と 10 Gbps (USB 3.1 Gen 2) です。


USB 3.0 – これは SuperSpeed USB とも呼ばれます。このポートは最大 4.8 Gbps のデータ転送速度をサポートし、旧式の USB 標準との後方互換性があります。


USB 2.0 – これは Hi-Speed USB とも呼ばれます。マルチメディアおよびストレージアプリケーションに追加の帯域幅を提供します。USB 2.0 は最大 480 Mbps のデータ転送速度をサポートします。

USB 1.x – 最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートするレガシー USB 標準です。

USB PowerShare – USB PowerShare 機能を使用すると、コンピュータの電源が切れているとき、またはスリープ状態のときに USB デバイスを充電することができます。⚡ アイコンは、その USB ポートが PowerShare 機能をサポートしていることを示しています。

 **メモ**：一部の USB デバイスは、コンピュータの電源が切れているかスリープモードの場合は充電できません。この場合、コンピュータの電源を入れて、デバイスを充電してください。

 **メモ**：USB デバイスの充電中にコンピュータの電源をオフにすると、デバイスの充電が停止する場合があります。充電を続行するには、デバイスを一度取り外して、もう一度接続してください。

 **メモ**：ノートブックでは、ノートブックの充電残量が 10% になると PowerShare 機能によりデバイスの充電が停止します。この制限は、BIOS セットアッププログラムを使用して設定できます

USB-C – お使いのデバイスによって、このポートは USB 3.1、Display over USB-C、Thunderbolt 3 デバイスをサポートしている場合があります。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Thunderbolt 3 (USB-C) ポート – USB 3.1 Gen 2、USB 3.1 Gen 1、DisplayPort、Thunderbolt デバイスをこのポートに接続できます。ドングルを使用して外部ディスプレイに接続できます。データ転送速度は最大で 40 Gbps です。

デバッグポート – デバッグポートは、トラブルシューティング目的、および USB 光学ドライブやフラッシュドライブを使用してオペレーティングシステムを再インストールするために、ユーザーが USB 3.0 ポートを一時的に USB 2.0 モードで動作させることを可能にします。

eSATA

eSATA は、ハードドライブおよび光学ドライブなどの外付けストレージデバイスのコンピュータへの接続を可能にします。内蔵 SATA ポートと同じ帯域幅を提供します。

コンピュータにはスタンドアロン eSATA ポート、または eSATA/USB コンボポートが装備されている場合があります。

ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA)

ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA) を使用して、モニターやプロジェクタなどに接続することができます。

VGA to HDMI または VGA to DVI アダプタをそれぞれ使用して、HDMI または DVI ポートに接続できます。

デジタルビジュアルインタフェース (DVI)

デジタルビジュアルインタフェース (DVI) では、コンピュータをフラットパネルモニターやプロジェクタなどのディスプレイに接続することができます。

DVI 接続には 3 つのタイプがあります。


- **DVI-D (DVI-デジタル)** – DVI-D は、ビデオカードとデジタルディスプレイ間でデジタルビデオ信号を転送します。高速で高画質なビデオ出力を可能にします。
- **DVI-A (DVI-アナログ)** – DVI-A は、アナログビデオ信号を CRT モニターやアナログ LCD モニターなどのディスプレイに送信します。
- **DVI-I (DVI-Integrated)** – DVI-I はデジタルまたはアナログ信号を送信できる統合コネクタです。このポートは汎用性が高く、デジタル接続とアナログ接続の両方で使用できます。

DisplayPort

DisplayPort は、お使いのコンピュータとモニターやプロジェクタなどのディスプレイデバイス間にデジタル接続を提供します。ビデオおよびオーディオ信号の両方をサポートします。DisplayPort はコンピュータディスプレイで使用するよう特別に設計されています。

ミニ DisplayPort

ミニ DisplayPort は DisplayPort の小型版です。

 **メモ**：DisplayPort とミニ DisplayPort はお互いに互換性がありますが、ポートとコネクタのサイズは異なります。ポートサイズが異なる場合は、コンバータを使用します。

DisplayPort の利点

- 高い解像度とリフレッシュレートをサポート
- 3D 伝送をサポート
- 複数表示デバイスの同時使用をサポート
- 広帯域デジタルコンテンツ保護 (HDCP) をサポート
- DVI、HDMI、VGA など旧式の接続標準を使用したディスプレイへの接続を可能にするプラグアンドプレイアダプタをサポート
- 信号ブースターを必要とすることなく、DisplayPort ケーブルを最大 15 メートル (49.21 フィート) に延長可能

HDMI

高品位マルチメディアインタフェース (HDMI) は、コンピュータ、ディスプレイデバイス、およびその他のマルチメディアデバイス間のデジタル接続を提供します。ビデオおよびオーディオ信号の両方をサポートします。

HDMI ポートはコンピュータ、テレビ、セットトップボックス、DVD およびブルーレイプレーヤ、ゲームコンソールなどに一般的に装備されています。

HDMI の利点

- 高い解像度とリフレッシュレートをサポート
- 3D 伝送をサポート
- HDCP をサポート
- ほとんどのコンピュータおよび家庭用マルチメディアデバイスで一般的に使用可能
- オーディオのみ、ビデオのみ、またはオーディオとビデオの接続のセットアップに使用可能
- LCD、プラズマディスプレイ、プロジェクタなどの固定ピクセルディスプレイとの互換性

ミニ HDMI

ミニ高品位マルチメディアインタフェース (HDMI) は、コンピュータと携帯デバイス (スマートフォン、ノートブックなど) 間のデジタル接続を提供します。

micro-HDMI

マイクロ高品位マルチメディアインタフェース (HDMI) は、コンピュータと携帯デバイス (スマートフォン、ノートブックなど) 間のデジタル接続を提供します。このコネクタは、多くのスマートフォンにあるマイクロ USB コネクタと似ています。

S/PDIF

S/PDIF はデジタル形式でオーディオを転送する場合の規格の 1 つです。S/PDIF はサウンドカード、スピーカー、ホームシアターシステム、テレビなどのオーディオデバイスに使用できます。5.1 オーディオに対するサポートを提供します。


S/PDIF 接続には 2 つのタイプがあります。

- 光 – 光ファイバと TOSLINK コネクタを使用します。
- 同軸 – 同軸ケーブルと RCA コネクタを使用します。

ソフトウェアとアプリケーション

Absolute

Absolute は、コンピュータ、タブレット、スマートフォンに対する永続的なエンドポイントセキュリティとデータリスク管理ソリューションを提供します。自動復活機能により、常にリスク評価を行い、各デバイスのライフサイクルを保護し、セキュリティインシデントに先制的に対応できます。

 **メモ**：コンピュータによっては、自動復活機能をサポートしていない場合もあります。

Absolute のサポート


デルでは Absolute Software 経由で自動復活機能に関するヘルプを提供しています。お客様はインストール、設定、仕様、トラブルシューティングに関するヘルプについて、Absolute Software にお問い合わせいただけます。

Absolute Software へのお問い合わせについては、**www.absolute.com** の Absolute Software ウェブサイトを参照するか、または **techsupport@absolute.com** までメールを送信してください。

My Dell Downloads

My Dell Downloads は、お使いのコンピュータに事前インストールされているものの、対応するメディアを受け取っていないソフトウェアのダウンロードおよびインストールを可能にするソフトウェアリポジトリです。

 **メモ**：My Dell Downloads が使用できない地域もあります。

 **メモ**：My Dell Downloads にアクセスするには登録が必要です。

My Dell Downloads では次の操作が可能です。

- 工場出荷時にコンピュータに同梱されていたソフトウェアを表示する。
- 権利を所有するソフトウェアをダウンロードおよびインストールする。
- My Dell Downloads のアカウントパスワードを変更する。

My Dell Downloads に登録し、サイトを利用するには次の手順を実行してください。

1. **smartsource.dell.com/Web/Welcome.aspx** にアクセスします。
2. 画面の指示に従って、お使いのコンピュータを登録します。
3. ソフトウェアを再インストールするか、将来使用できるようにバックアップメディアを作成します。

Dell SupportAssist

SupportAssist では、デバイスに基づくシステムのアップデート、問題の検出、警告の送信を行い、問題の解決および防止を簡単にします。このアプリケーションは、問題の解決と新たな問題の発生の防止に役立つ機能によるサポートを提供しています。以下の機能が含まれます。

- 警告およびアップデート
- カスタマイズされたサポート
- 故障防止のための予測的問題解決


Dell SupportAssist のダウンロード

SupportAssist はすでに新しいデルのコンピュータおよびタブレットのすべてにインストールされています。SupportAssist を再インストールするには、アプリケーションを**ダウンロード**してインストールプログラムを実行します。


SupportAssist にアクセス

Windows 10 – スタート画面で Dell ヘルプとサポートのアイコンをクリックまたはタップします。

Windows 8.1 – スタート画面で My Dell のアイコンをクリックまたはタップします。

Windows 7 – スタート  → **すべてのプログラム** → **Dell** → **My Dell** → **My Dell** の順にクリックします。

PC CheckUp

 **メモ**：PC CheckUp は選択したモデルでのみ利用できます。

PC CheckUp を使用して、ハードドライブの使用状況の確認、ハードウェアの診断、コンピュータに対して行われた変更の追跡を実行します。

- **ドライブ容量マネージャ** – 各タイプのファイルによって使用されている容量の視覚的な表示を使用して、ハードドライブを管理します。
- **パフォーマンスと設定履歴** – システムイベントおよび経時的変更を監視します。このユーティリティは、すべてのハードウェアスキャン、テスト、システムの変更、クリティカルなイベント、システムの復元ポイントなどの情報を表示します。
 - **詳細システム情報** – ハードウェア、およびオペレーティングシステム設定に関する詳細情報を表示します。また、サービス契約、保証情報、保証更新オプションにアクセスします。
 - **ヘルプ** – Dell Technical Support オプション、カスタマーサポート、ツアーおよびトレーニング、オンラインツール、サービスマニュアル、保証情報、FAQ（よくある情報）などを表示します。
 - **バックアップとリカバリ** – システム回復ツールにアクセスします。ここでは次のことが可能です。
 - 将来コンピュータを復元するため、お使いのコンピュータでデル工場出荷時イメージファイルを作成。
 - バックアップおよびリカバリメディアを作成。
 - **システムパフォーマンスの改善提案** – システムパフォーマンスの改善に役立つソフトウェアおよびハードウェアソリューションを手に入れます。

Solution Station

Solution Station は、コンピュータの設定とメンテナンス、ネットワークのセットアップとサポート、ホームエンターテイメントのインストールなどを提供するプレミアムサポートサービスのためのワンストップショップです。

自分のニーズに合わせて、次のサポートカテゴリからいずれかを選択します。**電話サポート、オンサイトサポート（訪問サポート）、またはオンラインサービス。**

主要なサービスは、コンピュータを最適化してスピードアップする無料の PC 状態チェック、一般的なエラーやトラブルシューティング、ウィルスとスパイウェア除去、ワイヤレスネットワークのセットアップなどです。また、よくあるトラブルに関する記事や FAQ、共通タスクの実行に関する手順も用意されています。

各サポートカテゴリでは柔軟な料金設定をご提供しており、お客様にはさまざまな度合いで問題解決に関与いただけます。


Solution Station 提供のサービス

タイプ	提供サービス
保証および継続的なケア	保証またはサービス窓口の期間延長 Dell Tech Concierge
インストールとセットアップ	コンピュータのセットアップ ワイヤレスネットワークのセットアップ ソフトウェアのインストール Windows オペレーティングシステムのインストール 内蔵ハードウェアのアップグレード テレビおよびホームシアターの取り付け アンチウイルスソフトウェアのインストール インターネットおよび E-メールのセットアップ コンピュータアクセサリのセットアップ インターネットペアレンタルコントロールのセットアップ ファイル転送およびデータバックアップ
トラブルシューティングと修理	コンピュータの高速化 ウイルスとスパイウェアの除去 データリカバリ コンピュータエラーとトラブルシューティング ネットワークエラーとトラブルシューティング

Quickset


QuickSet は、Dell コンピュータの機能を強化するソフトウェアアプリケーションのスイートです。これにより、通常さまざまな手順が必要な機能に容易にアクセスできます。Dell Quickset を使用してアクセスできる機能には以下が含まれます。

- ワイヤレスショートカットキーの設定
- バッテリー充電の無効化または有効化
- Fn キー動作の変更

 **メモ：**一部のコンピュータでは QuickSet がサポートされない場合があります。


Quickset のインストール

Quickset は新しいデルのコンピュータにはプレインストールされています。Quickset を再インストールする必要がある場合は、www.dell.com/support のデルサポートのウェブサイトからダウンロードしてください。

 **メモ**：PC Restore または同種のアプリケーションを使用してコンピュータを復元すると、Quickset も復元されます。

NVIDIA 3D アプリケーション

NVIDIA 3DTV Play アプリケーションをコンピュータにインストールすると、3D ゲームをプレイしたり、Blu-ray 3D ビデオを再生したり、3D フォトを閲覧することができます。NVIDIA 3D Vision と同じゲームをサポートしています。サポートされている 3D ゲームのリストについては、www.nvidia.com を参照してください。

 **メモ**：このアプリケーションについての詳細は、NVIDIA サポートを参照してください。

 **メモ**：一部のコンピュータでは NVIDIA 3D アプリケーションを利用できません。

3D ゲームのプレイ方法


1. フル画面モードでゲームを起動します。
2. 現在のモードが HDMI 1.4 対応ではないことを示すメッセージが表示された場合は、HD 3D モードでゲームの解像度を 1280 x 720 (720p) に設定します。

キーボードショートカット

3D ゲームで使用できるキーボードショートカットの一部は次のとおりです。

キー	説明	機能
<Ctrl> + <t>	立体的 3D 効果の表示/非表示	3DTV Play のオン / オフ メモ ：3DTV Play が無効の場合も、HD 3D モードではゲームのパフォーマンスが低下します。パフォーマンスを最大にするには、3DTV Play が無効の場合、HD または SD モードを選択します。
<Ctrl> + <F4>	3D の奥行きを増加	現在のゲームで 3D の奥行きを増加させます。

<Ctrl> + <F3>	3D の奥行き 減少	現在のゲームで 3D の奥行きを減少させます。
<Ctrl> + <F11>		プレイ中のゲームの 3D スクリーンショットをキャプチャし、ファイルを ドキュメント フォルダ内のフォルダに保存します。ファイルを表示するには、NVIDIA 3D Photo Viewer を使用します。
<Ctrl> + <Alt> + <Insert>	ゲームの互換性メッセージの表示 / 非表示	現在のゲームに対する NVIDIA の推奨設定が表示されます。
<Ctrl> + <F6>	コンバージョンの増加	オブジェクトを手前に移動します。最大コンバージョンでは、領域内のすべてのオブジェクトがシーンの前に配置されます。このショートカットはレーザーサイトの配置にも使用されます。
<Ctrl> + <F5>	コンバージョンの減少	オブジェクトを奥へ移動します。最小コンバージョンでは、領域内のすべてのオブジェクトがシーンの後ろに配置されます。このショートカットはレーザーサイトの配置にも使用されます。

 **メモ**：詳細については、NVIDIA アプリケーションのヘルプファイルを参照してください。

DellConnect

DellConnect は、デル担当者がお客様のコンピュータにアクセス（お客様の立会いの下）し、コンピュータの問題をリモートで診断し、解決するオンラインツールです。このツールは、テクニカルサポート担当者がお客様の許可を得たうえで、お客様のコンピュータを操作することが可能になります。

DellConnect の要請は、トラブルシューティング中必要となったときにテクニカルサポート担当者によって開始されます。

 **メモ**：DellConnect および使用条件にアクセスするには、www.dell.com/DellConnect を参照してください。

オペレーティングシステムの復元

システムリカバリオプション

次のいずれかのオプションを利用して、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することができます。

△ **注意**：Dell Factory Image Restore またはオペレーティングシステム ディスクを使用すると、コンピュータのファイルがすべて永久に削除されます。できる限り、これらのオプションを使用する前にデータファイルをバックアップするようにしてください。

オプション	説明
Dell Backup and Recovery	オペレーティングシステムをリカバリする最初の解決策として使用します。
システム再インストールディスク	オペレーティングシステムの不具合によって Dell Backup and Recovery が使用できない場合や、新しいまたは交換したハードドライブに Windows をインストールするときに使用します。
システムの復元	ファイルに影響を与えずに、オペレーティングシステムの設定を以前のポイントインタイムに復元するのに使用します。
Dell Factory Image Restore	これは、オペレーティングシステムを復元する最後のオプションとして使用します。 この方法を使用すると、コンピュータ受取り後に保存またはインストールしたすべてのファイルやアプリケーションが削除されます。

Dell Backup and Recovery

Dell Backup and Recovery には、次の 2 つのバージョンがあります。

- Dell Backup and Recovery Basic
- Dell Backup and Recovery Premium

機能	Basic	Premium
システムを工場出荷時の状態に復元する	✓	✓
手動でファイルをバックアップする	✓	✓
バックアップからファイルを復元する	✓	✓
クラウドから、またクラウドに対してバックアップおよび復元を行う (60 日経過後にこの機能を使用するには、クラウドストレージサブスクリプションをご購入いただく必要があります)	✓	✓
ファイルを継続的にバックアップしてデータを最小限に抑える	X	✓
フルシステムバックアップ (アプリケーションおよび設定を含む) を作成する	X	✓
複数のバックアップをマージして、古いバックアップをアーカイブする	X	✓
タイプに基づいてファイルをバックアップおよび復元する	X	✓

Dell Backup and Recovery Basic

Dell Backup and Recovery へのアクセス

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 検索チャームにアクセスします。
3. **アプリ**をクリックまたはタップして、検索ボックスに Dell Backup and Recovery と入力します。
4. 検索結果リスト内の **Dell Backup and Recovery** をクリックまたはタップします。

システム再インストールディスクの作成

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Factory Recovery Media** タイルをクリックまたはタップします。
3. 画面の指示に従います。

コンピュータの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックまたはタップします。
3. **System Recovery** (システムリカバリ) をクリックまたはタップします。
4. **Yes, Continue** (はい、続行します) をクリックまたはタップします。
5. 画面の指示に従います。

Dell Backup and Recovery Premium

△ 注意：リカバリプロセス中に個人用ファイルを保護するオプションが提供されますが、リカバリオプションを使用する前に、個人用ファイルを別のドライブまたはディスクにバックアップすることをお勧めします。

📝 **メモ**：Digital Delivery アプリケーションからコンピュータと一緒に Dell Backup and Recovery Premium を注文した場合は、Dell Backup and Recovery Basic を最初にダウンロードしてから Dell Backup and Recovery Premium オプションを取得する必要があります。

Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Backup** (バックアップ) タイルをクリックまたはタップし、**Data Backup** (データバックアップ) を選択します。
3. **Upgrade to Dell Backup and Recovery Premium** (Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード) をクリックまたはタップします。

システムバックアップからのデータの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Backup** (バックアップ) タイルをクリックまたはタップし、**System Backup** (システムバックアップ) を選択します。
3. 画面の指示に従います。

フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックまたはタップして、**Data Recovery** (データリカバリ) を選択します。
3. **Yes, Continue** (はい、続行します) をクリックまたはタップします。
4. 画面の指示に従います。

ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元


1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery**（リカバリ） タイルをクリックまたはタップして、**Recover your Data**（データをリカバリする）を選択します。
3. **Browse**（参照） をクリックまたはタップして、ファイルおよびフォルダを選択し、**OK** を選択します。
4. **Restore Now**（今すぐ復元） をクリックまたはタップします。
5. 画面の指示に従います。

フルシステムバックアップの作成

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Backup**（バックアップ） タイルをクリックまたはタップして、**System Recovery**（システムリカバリ）を選択します。
3. **Backup Now**（今すぐバックアップ） をクリックまたはタップします。
4. 画面の指示に従います。

Dell Factory Image Restore

△ **注意**：Dell Factory Image Restore オプションを使用すると、コンピュータ購入後にインストールしたプログラムまたはドライバがすべて削除されます。Dell Factory Image Restore を使用する前に、コンピュータに再インストールする必要があるアプリケーションのバックアップメディアを作成します。

 **メモ**：Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell Factory Image Restore は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。このオプションはハードドライブのソフトウェアを最初に出荷された状態に復元します。コンピュータを購入した後に追加したプログラムまたはファイル（写真、音楽、動画などのデータファイルを含む）はすべて削除されます。



Dell Factory Image Restore へのアクセス

△ **注意**：Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブ上のデータはすべて完全に削除され、コンピュータを受け取った後にインストールしたアプリケーションプログラムやドライバもすべて削除されます。可能であれば、Dell Factory Image Restore を実行する前にデータをバックアップしてください。他のリカバリ方法に失敗した場合のみ、Dell Factory Image Restore を使用してください。

オペレーティングシステムの起動に 2 回失敗した後は、起動シーケンスによってシステムリカバリオプションと自動修復の実行が自動的に試みられます。

Dell Factory Image Restore の開始

△ **注意** : Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブ上のデータはすべて完全に削除され、コンピュータを受け取った後にインストールしたアプリケーションプログラムやドライバもすべて削除されます。可能であれば、Dell Factory Image Restore を実行する前にデータをバックアップしてください。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. DELL ロゴが表示されたら、<F8> を何回か押して、**Advanced Boot Options** (詳細起動オプション) ウィンドウにアクセスします。
 **メモ** : キーを押すのが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合には、Microsoft Windows デスクトップが表示されてから、コンピュータを再起動してもう一度やり直してください。
3. **Repair Your Computer** (コンピュータの修復) を選択します。 **システム回復オプション** ウィンドウが表示されます。
4. キーボードのレイアウトを選択し、**Next** (次へ) をクリックまたはタップします。
5. ローカルコンピュータにログインします。
6. **Dell Factory Image Restore** または **Dell Factory Tools** (Dell Factory ツール) → **Dell Factory Image Restore** を選択します (コンピュータの設定に応じて異なります)。
7. **Next** (次へ) をクリックまたはタップします。 **Confirm Data Deletion** (データ削除の確認) 画面が表示されます。
 **メモ** : Dell Factory Image Restore を続行しない場合は、**Cancel** (キャンセル) をクリックまたはタップします。
8. ハードドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスを選択し、**Next** (次へ) をクリックまたはタップします。復元処理が開始されます。復元処理が完了するまで 20 分以上かかる場合があります。
9. 復元の操作が終了したら、**Finish** (終了) をクリックまたはタップしてコンピュータを再起動します。

システムの復元


△ **注意**：データファイルは定期的にバックアップしてください。システムの復元は、データファイルへの変更の監視、またはデータファイルの回復は行いません。


システムの復元は Microsoft Windows ツールであり、ドキュメント、写真、E-メールなどの個人用ファイルに影響を与えずに、コンピュータに対するソフトウェア関連の変更を元に戻すのに役立ちます。

ソフトウェアまたはデバイスドライバをインストールすると、新しいソフトウェアやデバイスをサポートするため、Windows システムファイルがアップデートされます。このアップデートにより、予期せぬエラーが発生する場合があります。システムの復元は、ソフトウェアやデバイスドライバをインストールする前の状態に Windows システムファイルに戻します。

システムの復元は、定期的な間隔で復元ポイントを作成し、保存します。この復元ポイントを使用して（または、独自の復元ポイントを作成して）、コンピュータのシステムファイルを以前の状態に戻します。

ソフトウェア、ドライバ、またはその他のシステム設定に対する変更によって、コンピュータが望ましくない動作状態になっている場合には、システムの復元を使用します。

 **メモ**：新しく取り付けられたハードウェアが原因である場合は、そのハードウェアを取り外すか接続解除し、システムの復元を試みてください。

 **メモ**：システムの復元は個人ファイルのバックアップを行いません。そのため、削除、または損傷を受けた個人ファイルを復元することはできません。

Windows 10

システムの復元の使用

1. スタートボタンを右クリック（または長押し）して、**コントロールパネル**を選択します。
2. 検索ボックスに「回復」と入力します。
3. **回復**をクリックまたはタップします。
4. **システムの復元を開く**をクリックまたはタップします。
5. **次へ**をクリックまたはタップして、画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

1. スタートボタンを右クリック（または長押し）して、**コントロールパネル**を選択します。
2. **セキュリティとメンテナンス**をクリックまたはタップします。
3. **回復**をクリックまたはタップします。
4. **システムの復元を開く**をクリックまたはタップし、画面の指示に従って前回のシステムの復元を元に戻します。

Windows 8.1

システムの復元の使用



1. チャームサイドバーで**設定**をクリックまたはタップします。
2. **コントロールパネル**をクリックまたはタップします。
3. 検索ボックスに「回復」と入力します。
4. **回復**をクリックまたはタップし、**システムの復元を開く**をクリックまたはタップします。
5. 画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

1. チャームサイドバーで**設定**をクリックまたはタップします。
2. **コントロールパネル**をクリックまたはタップします。
3. システムウィンドウで、**アクションセンター**をクリックまたはタップします。
4. アクションセンターウィンドウの右下隅で、**回復**をクリックまたはタップします。
5. **システムの復元を開く**をクリックまたはタップし、画面の指示に従って前回のシステムの復元を元に戻します。


Windows 7


システムの復元の使用

1. **スタート**  をクリックします。
2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
 **メモ**：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行**をクリックまたはタップします。管理者でない場合は、管理者に連絡します。
3. **次へ**をクリックして、画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

システムの復元により不具合が解決しなかった場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

-  **メモ**：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. スタート  をクリックまたはタップします。
2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
3. システムの復元を元に戻すをクリックまたはタップして、次へをクリックまたはタップし、画面の指示に従います。

オペレーティングシステムディスク

△ **注意**：オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールすると、すべてのデータおよびソフトウェアがお使いのコンピュータから完全に消去されます。

✎ **メモ**：オペレーティングシステムディスクはオプションであり、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

オペレーティングシステムディスクを使用して、お使いのコンピュータにオペレーティングシステムをインストールまたは再インストールすることができます。オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールした後に、すべてのドライバとソフトウェアを再インストールする必要があります。

オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールする

オペレーティングシステムを再インストールするには、次の手順を実行します。

1. オペレーティングシステムディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押して起動メニューにアクセスします。

✎ **メモ**：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、コンピュータがオペレーティングシステムをロードするのを待ち、その後コンピュータを再起動して操作をやり直します。

3. リストから CD/DVD ドライブを選択し、<Enter> を押します。
4. 画面の指示に従います。


システム再インストールメディア

Dell Backup and Recovery を使用して作成したシステム再インストールメディアで、お使いのコンピュータのデータファイルを維持しながら、コンピュータ購入時の動作状態にハードドライブを戻すことができます。

Dell Backup and Recovery を使用して、システム再インストールメディアを作成します。

システム再インストールメディアを使用したコンピュータの復元

システム再インストールメディアを使用してコンピュータを復元するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. システムリカバリディスクを光学ドライブに挿入するか、USB キーを接続してコンピュータの電源を入れます。
3. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押して起動メニューにアクセスします。
 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、コンピュータがオペレーティングシステムをロードするのを待ち、その後コンピュータを再起動して操作をやり直します。
4. 復元に使用するメディアをハイライトして、<Enter> を押します。
5. プロンプトが表示されたら、任意のキーをすばやく押して起動デバイスから起動します。
6. 画面に表示される指示に従って、リカバリ処理を完了してください。

トラブルシューティング

基本的なトラブルシューティング手順

本項では、コンピュータでよくある問題を解決するために使用することができる基本的なトラブルシューティング手順をいくつか紹介します。

- コンピュータの電源が入っていて、すべてのコンポーネントに電力が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルが対応するポートにしっかり接続されていることを確認します。
- ケーブルが損傷したり、擦り切れたりしていないことを確認します。
- コネクタのピンが曲がったり、壊れたりしていないことを確認します。
- コンピュータを再起動し、引き続き問題があるかどうかをチェックします。
- インターネットの接続問題については、モデムとルーターをコンセントから外し、約 30 秒待ってから、電源ケーブルを差し込んで接続を再試行します。

 **メモ：**トラブルシューティング、一般的な問題の解決方法、および FAQ については、www.dell.com/support を参照してください。デルに連絡してテクニカルサポートを受けるには、「[デルへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

Diagnostics (診断)

お使いのコンピュータには診断ツールが搭載されており、コンピュータに関する問題の判断に便利です。診断ツールは、エラーメッセージ、ライトコード、ビープコードを使用して問題を通知する場合があります。


起動前システムアセスメント

PSA (Pre-Boot System Assessment) を使用して、各種ハードウェアの問題を診断することができます。ePSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

 **メモ：**コンピュータによっては、PSA をサポートしていない場合もあります。

PSA の起動

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F12> を押して BIOS セットアッププログラムにアクセスします。

 **メモ：**キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。

3. **Diagnostics** (診断) を選択し、<Enter> を押します。


4. 画面の手順に従ってテストを完了します。

コンポーネントのテストに失敗すると、テストが停止し、コンピュータはビーブ音を発し、エラーコードが表示されます。エラーコードをメモして www.dell.com/support で解決方法を検索するか、またはデルにお問い合わせください。

画面の手順に従って次のテストに進む、失敗したコンポーネントを再テストする、またはテストを停止してコンピュータを再起動します。

PSA が正常に完了したら、以下のメッセージが画面に表示されます：“ No problems have been found with this system so far.Do you want to run the remaining memory tests?This will take about 30 minutes or more.Do you want to continue?(Recommended).

(これまでのところシステムには問題は見つかりませんでした。残りのメモリテストを実行しますか？このテストは 30 分以上かかります。続行しますか？(推奨)) ”メモリの問題がある場合は、<y> を押して続行し、それ以外の場合は <n> を押してテストを終了します。

 **メモ**：テスト中に<Esc> を押すといつでもテストを中止し、コンピュータを再起動できます。

拡張 PSA

ePSA (Enhanced Pre-Boot System Assessment) を使用して、各種ハードウェアの問題を診断することができます。ePSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

 **メモ**：コンピュータによっては ePSA がサポートされない場合があります。

ePSA のホーム画面は、次の 3 つのエリアに分かれています。


- Device (デバイス) ウィンドウ – ePSA ホーム画面の左側に表示されます。コンピュータに取り付けているデバイスがすべて表示されるため、デバイスを選択する場合に使用できます。
- Control (コントロール) ウィンドウ – ePSA ホーム画面の右下に表示されます。
 - コントロールウィンドウの **Thorough Test Mode** (徹底テストモード) チェックボックスをオンにすると、テストの範囲と期間が最大化されます。
 - ステータスバーがコントロールウィンドウの左下に表示され、テスト全体の完了率を示します。
 - 選択したデバイスをテストするには、**RunTests** (テストの実行) をクリックまたはタップします。
 - ePSA を終了し、コンピュータを再起動するには、**Exit** (終了) をクリックまたはタップします。
- Status (ステータス) ウィンドウ – ePSA ホーム画面の右側に表示されます。

ステータスエリアには、次の 4 つのタブがあります。

- **Configuration**（設定）－ ePSA を使用してテストできるすべてのデバイスについて、詳細な設定とステータス情報を表示します。
- **Results**（結果）－ 実行されるすべてのテスト、それらのアクティビティ、および各テストの結果を表示します。
- **System Health**（システム正常性）－ バッテリー、電源アダプタ、ファンなどのステータスを表示します。
- **Event Log**（イベントログ）－ 全テストに関する詳細情報が提供されます。Stat 列には、テストの状態が表示されます。


LCD BIST

LCD BIST（ビルトインセルフテスト）は、ディスプレイ問題の原因が LCD かそれとも他の部品かどうかを判断するのに役立ちます。テストでは画面上にさまざまな色とテキストが表示され、テスト中に問題に気づかない場合は、問題は LCD 以外にあります。

 **メモ**：周辺機器には固有の診断がある場合があります。詳細については、周辺機器のマニュアルを参照してください。


LCD BIST の起動

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F12> を押して BIOS セットアッププログラムにアクセスします。

 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。
3. **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。
4. 画面に色付きの線が表示されない場合は、<N> を押して LCD BIST を起動します。

ePSA の起動

ePSA を起動するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータを再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F12> を押して BIOS セットアッププログラムにアクセスします。
 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。
3. **Diagnostics** (診断) を選択し、<Enter> を押します。
4. 画面上の手順に従ってテストを完了し、表示されるエラーメッセージをすべて書きとめてください。

コンポーネントのテストに失敗すると、テストが停止し、コンピュータはビーブ音を発し、エラーコードが表示されます。エラーコードをメモして www.dell.com/support で解決方法を検索するか、またはデルにお問い合わせください。

画面の手順に従って次のテストに進む、失敗したコンポーネントを再テストする、またはテストを停止してコンピュータを再起動します。

PSA が正常に完了したら、以下のメッセージが画面に表示されます：“ No problems have been found with this system so far.Do you want to run the remaining memory tests? This will take about 30 minutes or more.Do you want to continue?(Recommended).


(これまでのところシステムには問題は見つかりませんでした。残りのメモリテストを実行しますか？このテストは 30 分以上かかります。続行しますか？(推奨)) ”メモリの問題がある場合は、<y> を押して続行し、それ以外の場合は <n> を押してテストを終了します。

ePSA がエラーとともに完了したら、以下のメッセージが画面に表示されます：“Testing completed.One or more errors were detected. (テストが完了しました。1 つ以上のエラーが検出されました) ”

Status (ステータス) ウィンドウの **Event Log** (イベントログ) タブに、ePSA テスト中に発生したエラーが表示されます。

ビーブコード

お使いのコンピュータの起動時に、エラーまたは問題が発生した場合、ビーブ音が連続して鳴ることがあります。この連続したビーブ音はビーブコードと呼ばれ、問題を特定します。ビーブ音が鳴った場合、ビーブコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

 **メモ**：表に記載されている一部のビーブコードは、お使いのコンピュータに適用されない場合があります。

ビーブコード 考えられる問題

1 回	システム基板の不具合の可能性 – BIOS ROM Checksum の失敗
2 回	RAM が検知されない メモ ：メモリモジュールをインストール、または交換した場合、正しく設置されているか確認してください。
3 回	システム基板の不具合の可能性 – チップセットエラー
4 回	RAM 読み取り / 書き込み障害
5 回	リアルタイムクロック障害
6 回	ビデオカードまたはビデオコントローラの不具合
7 回	プロセッサの不具合 メモ ：このビーブコードは、Intel プロセッサを搭載したコンピュータのみでサポートされています。
8 回	ディスプレイの不具合

BIOS

BIOS はお使いのコンピュータのハードウェア情報を保存し、コンピュータの起動時にオペレーティングシステムにその情報を伝えます。BIOS に保存された基本的なハードウェア設定は、BIOS セットアッププログラムを使用して変更することができます。

BIOS セットアッププログラムで以下を行うことができます。

- ユーザーパスワードなどのユーザー選択可能オプションの設定または変更。
- メモリ容量、ハードドライブのタイプなどのコンピュータに取り付けられているデバイスの判別。
- コンピュータへのハードウェアを追加、変更、または取り外し後におけるシステム設定情報の変更。


BIOS 設定の変更

△ **注意：BIOS セットアッププログラムでの誤った設定は、コンピュータが起動しない、正しく機能しない、またはコンピュータが損傷する原因となる恐れがあります。**

日付と時刻、起動デバイス、起動順序、PowerShare の有効または無効の切り替えなどの設定を変更する必要がある場合があります。設定を変更するには、BIOS セットアッププログラムを起動し、変更する設定を見つけて、画面上の手順に従います。

BIOS セットアッププログラムの起動

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F2> を押して BIOS セットアッププログラムを起動します。

 **メモ：**キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。

BIOS パスワードのリセット

BIOS パスワードは、コンピュータに特別なセキュリティを追加する際に使用します。コンピュータの起動時、または BIOS セットアッププログラムの起動時にパスワードのプロンプトを表示するようにコンピュータを設定することができます。

失った、または忘れてしまった BIOS パスワードをリセットするには、お使いのコンピュータのタイプに応じて、次のいずれかの方法を使用します。

△ **注意**：BIOS パスワードをリセットすると CMOS からすべてのデータがクリアされます。いずれかの BIOS 設定を変更している場合は、パスワードをリセットした後に再度変更を行う必要があります。

CMOS バッテリーの取り外し

⚠ **警告**：コンピュータ内部の作業を始める前に、安全にお使いいただくための注意をお読みください。

ほとんどすべてのシステム基板では、パスワードを含む BIOS 設定の維持に便利なコイン型電池を使用しています。パスワードをリセットするには、コイン型電池を取り外して、15 分～30 分待ってからコイン型電池を取り付けます。

✍ **メモ**：コイン型電池の位置、およびその取り外しと取り付け手順の詳細については、www.dell.com/support の『Service Manual』（サービスマニュアル）を参照してください。

システム基板ジャンパの使用

✍ **メモ**：システム基板ジャンパはデスクトップコンピュータでのみ使用できません。

デスクトップコンピュータのほとんどすべてのシステム基板にはジャンパが含まれ、BIOS パスワードと一緒に CMOS 設定をクリアします。ジャンパの位置はシステム基板に応じて異なります。CMOS バッテリーの近くで、たいてい CLR、CLEAR、CLEAR CMOS などラベル付けされたジャンパを探します。

パスワードおよび CMOS 設定のクリア手順については、www.dell.com/support でお使いのコンピュータの『Service Manual』（サービスマニュアル）を参照してください。


起動順序の変更

オペレーティングシステムの再インストール、もしくはリカバリディスクまたは USB ドライブを使用するときなど、デフォルトデバイス以外のデバイスから起動する場合は、起動順序を変更する必要がある場合があります。

起動順序は、起動メニューまたは BIOS セットアッププログラムを使用して選択することができます。


起動メニューの使用

起動メニューを使用して、お使いのコンピュータの起動順序を現在の起動用に変更します。

 **メモ**：コンピュータは選択した起動デバイスから 1 回のみ起動し、次回お使いのコンピュータを再起動する際はデフォルトのデバイスに戻ります。

起動メニューを使用して起動デバイスを選択するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 起動メニューにアクセスするには、Dell のロゴが表示されている間に <F12> を押します。

 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。


3. 上矢印キーまたは下矢印キーを使用して起動元のデバイスを選択し、<Enter> を押します。

BIOS セットアッププログラムの使用

起動時にコンピュータが毎回使用するデバイスの順番を選択するには、BIOS セットアッププログラムを使用します。

BIOS セットアッププログラムを使用して起動順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. BIOS セットアッププログラムを起動します。
2. **Boot**（起動）タブを選択します。
3. チェックボックスを選択して、起動に使用されるデバイスを有効化または無効化します。
4. デバイスを上または下に移動させて、起動順序を変更します。

 **メモ**：リスト内の最初のデバイスが、デフォルト起動デバイスになります。

困ったときは/デルへのお問い合わせ

困ったときは

次のセルフヘルプリソースを使用して、Dell 製品とサービスの情報およびヘルプを入手できます。

Dell 製品およびサービスについての詳細 www.dell.com

Windows 8.1 および Windows 10	Dell ヘルプとサポート アプリ
	
Windows 10	はじめに アプリ
	
Windows 8.1	ヘルプ+ヒント アプリ
	
Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 のヘルプにアクセス	Windows 検索にヘルプとサポートと入力して、<Enter>を押します。
Windows 7 のヘルプにアクセス	スタート→ ヘルプとサポートの順にクリックまたはタップします。
オペレーティングシステム用オンラインヘルプ	www.dell.com/support/windows www.dell.com/support/linux
トラブルシューティング情報、ユーザーマニュアル、セットアップ手順、製品仕様、テクニカルヘルプブログ、ドライバ、ソフトウェアアップデートなど	www.dell.com/support
オペレーティングシステム、コンピュータのセットアップおよび使用、データのバックアップ、診断などに関する詳細	www.dell.com/support/manuals の『私とマイデル』を参照してください。

デルへのお問い合わせ

セールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスに関するデルへのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

- ✎ **メモ**：利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また、国によっては一部のサービスがご利用できない場合もあります。
- ✎ **メモ**：インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

参考文献

コンピュータのメンテナンス

一般的なコンピュータ問題を回避するため、次のタスクを実行することをお勧めします。

- 電源への直接接続が可能で、換気が十分に行われ、表面が平らな場所にコンピュータを設置します。
- 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃が入らないようにしてください。
- 定期的にデータをバックアップします。
- 定期的にウイルススキャンを実行します。
- お使いのコンピュータで使用できる SupportAssist、およびその他ツールを使用して、コンピュータにエラーがないかをチェックします。
- 乾いた柔らかい布で、定期的にコンピュータを清掃します。
△ **注意：水やその他の溶剤を使用したコンピュータの清掃は、コンピュータを損傷する恐れがあります。**
- デバイスストレージの空きスペースが十分あることを確認してください。使用できる空きスペースが不足すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ソフトウェア問題に対応し、コンピュータセキュリティを向上させるため、Microsoft Windows およびその他ソフトウェアの自動アップデートを有効にします。

電力管理

電力管理は、各種コンポーネントへの電力供給を制限することにより、コンピュータの電力消費をカットします。BIOS セットアッププログラムおよびオペレーティングシステムでは、特定コンポーネントへの電力供給を削減または遮断するタイミングを設定することができます。

Microsoft Windows の一般的な省電力状態には、次のような状態があります。


- **スリープ** — スリープは、作業を再開するときにコンピュータをすばやく（通常は数秒内）フル電力で復帰させることができる省電力状態です。
- **休止状態** — 休止状態は、開かれたドキュメントやプログラムをコンピュータのストレージに保存してから、コンピュータの電源を切ります。

- **ハイブリッドスリープ** – ハイブリッドスリープは、スリープと休止状態の組み合わせです。ハイブリッドスリープは開いているドキュメントとプログラムをメモリとコンピュータのストレージに保存し、すぐに作業を再開できるように、コンピュータを低電力状態にします。ハイブリッドスリープがオンの時に、コンピュータがスリープモードに入ると、自動的にハイブリッドスリープ状態になります。
- **シャットダウン** – かなりの時間コンピュータを使用する予定がない場合に、コンピュータをシャットダウンしておきます。シャットダウンすることで、コンピュータを安全に維持し、エネルギーも節約します。コンピュータ内部のハードウェアを追加または削除する前にコンピュータをシャットダウンします。すぐに作業を再開する必要がある場合は、シャットダウンはお勧めしません。


電源設定の実行

電源設定を行うには、次の手順を実行します。

Windows 10/8.1

1. **スタート** → **すべてのアプリ** をクリックまたはタップします。
2. **Windows システム** で **コントロールパネル** をクリックまたはタップします。
 **メモ**：Windows 8.1/Windows RT の場合は、チャームサイドバーの設定をクリックまたはタップし、**コントロールパネル** をクリックまたはタップします。
3. コントロールパネルがカテゴリ別に表示されている場合は、**表示**：ドロップダウンをクリックまたはタップして、**小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
4. **電源オプション** をクリックまたはタップします。
5. コンピュータの使用方法に応じて、利用可能なオプションリストからプランを選択できます。
6. 電源の設定を変更するには、**プラン設定の変更** をクリックまたはタップします。


Windows 7

1. **スタート**  → **コントロールパネル** → **電源オプション** の順にクリックします。
2. コンピュータの使用方法に応じて、利用可能なオプションリストからプランを選択できます。
3. 電源の設定を変更するには、**プラン設定の変更** をクリックします。


電源ボタンの動作の設定

電源ボタンの動作を設定するには、次の手順を実行します。

Windows 10/8.1

1. スタート画面で任意の場所を右クリックします。
2. 画面の右下隅にある**すべてのアプリ**をクリックまたはタップします。
3. **Windows システムでコントロールパネル**をクリックまたはタップします。
 **メモ**：Windows 8.1/Windows RT の場合は、チャームサイドバーの**設定**をクリックまたはタップし、**コントロールパネル**をクリックまたはタップします。
4. コントロールパネルがカテゴリ別に表示されている場合は、**表示**：ドロップダウンをクリックまたはタップして、**小アイコン**または**大アイコン**を選択します。
5. **電源オプション** をクリックまたはタップします。
6. **電源ボタンの動作を選択する** をクリックまたはタップします。
コンピュータがバッテリーで動作しているとき、および電源アダプタに接続されているときのために、異なるオプションを選択することができます。
7. **変更の保存** をクリックまたはタップします。

Windows 7

1. **スタート**  → **コントロールパネル** → **電源オプション**の順にクリックします。
2. **電源ボタンの動作を選択する** をクリックします。
3. **電源ボタンを押したときの動作**の横にあるドロップダウンメニューから、電源ボタンを押したときのコンピュータの動作を選択します。
コンピュータがバッテリーで動作しているとき、および電源アダプタに接続されているときのために、異なるオプションを選択することができます。
4. **変更の保存** をクリックします。

バッテリー寿命の向上


バッテリーの動作時間（バッテリーが充電を保持できる時間）は、ノートブックコンピュータの使い方によって異なります。

次を使用すると、バッテリーの動作時間が著しく減少します。

- 光学ドライブ。
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアカード、または USB デバイス。
- ディスプレイの高輝度設定、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションやゲームなどのその他の電力集約型プログラム。

バッテリーの性能は、次の方法で改善できます。

- 可能な場合は、AC 電源でコンピュータを操作します。バッテリーが放電し、再充電された回数によって、バッテリーの駆動時間が減少します。
- お使いのコンピュータの電力使用を最適にするため、Microsoft Windows 電源オプションを使用して電源管理の設定を行う（「電力管理」を参照）。
- コンピュータのスリープ/スタンバイ、および休止状態機能を有効にする。

 **メモ**：バッテリーの使用頻度や使用状況により、バッテリーの寿命は時間と共に減少します。

バッテリーの充電動作を設定して、バッテリーの寿命を延長することができます。

Dell 長寿命モード

バッテリーを完全に放電させずにコンピュータを頻繁に電源に接続したり取り外したりすると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。長寿モード機能は、お使いのバッテリーが充電する程度を抑えることによりバッテリーの状態を保護し、バッテリーの頻繁な充電および放電サイクルを回避します。

Dell ノートブックは、お使いのバッテリーの充電と放電動作を自動で監視し、該当する場合は、長寿モードを有効にするようにメッセージを表示します。


 **メモ**：一部のコンピュータでは Dell 長寿命モードがサポートされない場合があります。

Dell 長寿命モードを設定するには、次の手順を実行します。

Windows タスクトレイのバッテリーアイコンを右クリックし、**Dell Extended Battery Life Options**（デル拡張バッテリー駆動時間オプション）をクリックまたはタップします。

Battery Meter（バッテリーメーター）ダイアログボックスが表示されます。

5. **Longevity mode**（長寿命モード）タブをクリックまたはタップします。
6. **Enable**（有効）をクリックまたはタップして Dell 長寿命モードをオンにするか、**Disable**（無効）をクリックまたはタップしてオフにします。
7. **OK** をクリックまたはタップします。

 **メモ**：長寿命モードを有効にすると、バッテリーはその容量の 88～100 % 間でしか充電しません。

Dell デスクトップモード

主に電源アダプタを接続した状態でコンピュータを使用する場合は、デスクトップモードを有効にしてバッテリーの充電レベルを加減することができます。これによって、充電と放電のサイクルの回数が減少し、バッテリー寿命が改善されます。

Dell ノートブックは、お使いのバッテリーの充電と放電動作を自動で監視し、該当する場合は、デスクトップモードを有効にするようにメッセージを表示します。


 **メモ**：一部のコンピュータでは Dell デスクトップモードがサポートされない場合があります。

デスクトップモードを有効化または無効化するには、次の手順を実行します。

1. Windows タスクトレイのバッテリーアイコンを右クリックし、**Dell Extended Battery Life Options** (デル拡張バッテリー駆動時間オプション) をクリックまたはタップします。

Battery Meter (バッテリーメーター) ダイアログボックスが表示されます。

2. **Desktop mode** (デスクトップモード) タブをクリックまたはタップします。
3. 好みに合わせて **Enable** (有効) または **Disable** (無効) をクリックまたはタップします。
4. **OK** をクリックまたはタップします。

 **メモ**：デスクトップモードが有効の場合、バッテリーは容量の 50% ~ 100% の間でしか充電しません。

移行のヒント

コンピュータの移行とは、2 台のコンピュータ間でデータやアプリケーションを移動することを指します。コンピュータの移行が必要となる最も一般的な状況は、新しいコンピュータを購入したとき、または新しいオペレーティングシステムにアップグレードしたときです。

△ **注意**：移行を合理化するユーティリティは数種類ありますが、ピクチャ、音楽、ドキュメントなどのファイルをバックアップしておくことを推奨します。

Windows オペレーティングシステムからの新しいオペレーティングシステムへの移行

新しいオペレーティングシステムに移行する際は、オペレーティングシステム間の移行について Microsoft 提供のガイドラインを参照してください。詳細については、www.microsoft.com を参照してください。

人間工学情報

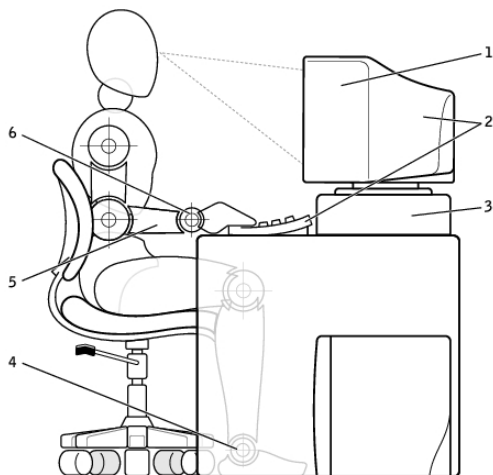
△ 注意：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。

△ 注意：モニターの画面を長い時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

コンピュータを快適に効率よく使用するため、コンピュータのセットアップおよび使用時には、人間工学に関するガイドラインを使用してください。

ノートパソコンは、必ずしも事務機器としての継続的作業用には設計されていません。継続的にノートパソコンを使用する場合は、外付けキーボードに接続することをおすすめします。

- 作業時、モニターとキーボードが身体の正面にくるようコンピュータを配置します。キーボードの位置を調節できる専用の棚が販売されています。
- 外部モニターを快適に見える距離に設置します。推奨距離は目から510 mm～610 mm（20 インチ～24 インチ）です。
- モニタの高さは、正面に座ったときに目線と同じになるか、やや低くなるようにしてください。
- モニタの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、モニタ画面の反射を最小限に抑えます。
- 背中をしっかりとサポートする椅子を使用します。
- キーボードやマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- キーボードやマウスを使用する際に、手を休めることができるスペースを確保します。
- 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 足を床に着き、腿が水平になる姿勢で背筋を伸ばして座ります。
- 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。
- 作業に変化を持たせるように調整して、長時間のタイピングを避けます。また、タイピングしていないときはなるべく両手を使う作業を行うようにします。
- 机の下やその周辺は、座り心地を悪くしたりつまずいたりする恐れのあるケーブルや電源コードなどの障害物がないようにしてください。



- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 目線レベル、またはそれより下にモニタを設置する | 4 足の裏は床につける |
| 2 モニタおよびキーボードは身体の正面に設置する | 5 机は腕の位置と同じ高さにする |
| 3 モニタスタンド | 6 手首はリラックスさせて水平にする |

メモ： コンピュータを快適にお使いいただくための最新注意事項については、www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

デルと環境

エコ（環境保護）とは制限ではなく、可能性を意味します。より良い方法を探すことです。

日常生活の中では、エコな選択をするチャンスはありますが、テクノロジーを選択する場合、コストやパフォーマンス、信頼性を犠牲にしたいことはありません。デルは犠牲にする必要はないと考え、そのためお客様や企業がエコのために何かを妥協しなくて済むように努力しています。

現実の環境問題に影響を及ぼす実用的な製品やサービスを届けることにより、これを実現しています。エコの核心にあるのは、より良い方法を実現するパワフルなアイデアだからです。賢く時間、コスト、そしてリソースを使う方法であり、賢く生活し、働き、この世界で成功を収める方法です。



竹材 – 環境に優しい自然の梱包ソリューション

地球の天然資源を守る新しい方法を見つけるという人類共通の目標を達成するため、デルでは環境への影響を最小限に抑える、実用的かつ革新的なパッケージングソリューションを提供しています。パッケージが少なければ、お客様の負担も軽くなります。再生可能なパッケージにより、廃棄も簡素化されます。そして、持続可能な素材は地球にも優しいのです。

竹の梱包材は、複数の Dell 製品の出荷に使用されています。

廃棄処理が容易になるように、デルの竹梱包材には生分解性があり、Soil Control Lab から「コンポスト化可能」として認証されています。

デルでは責任のある調達がお客様にとって重要なことを認識しており、竹材はパンダの生息地から遠く離れた森林から調達しています。



植樹プログラムへの参加

デルでは、コンピュータ機器からの温室効果ガスの排出と、健康な地球を築くためのバランスを保つことを手軽にするため、木一本、森林ひとつずつ改善していく Plant a Tree プログラムを設置しました。



デルのリサイクル

コンピュータや電子部品をアップグレードする場合、デルでは各地の埋立地にデルのテクノロジーが廃棄されないよう努めています。デルの試みにご協力ください。ご家庭や職場のコンピュータをデルを通じてリサイクルすれば、スピーディで便利、しかも安全です。私たち、そして私たちの地球に良いことをしましょう。デルと力を合わせて、テクノロジーを責任持って廃棄しましょう。

規制順守ポリシー

完全な詳細については、www.dell.com/regulatory_compliance にアクセスしてください。

規制順守ウェブサイトについての連絡先詳細

製品の安全性、EMC、または人間工学に関して不明な点がある場合は、Regulatory_Compliance@dell.com までメールでお問い合わせください。

その他の規制順守情報

WWTC (World Wide Trade Compliance Organization) は、製品分類を含む輸出入規制に対するデルのコンプライアンス管理を担当しています。デルの製造したシステムの分類データは、製品指定のProduct Safety, EMC and Environmental Datasheet (製品安全、EMC、環境データシート) に記載されています。

デル製品の輸出入分類に関して不明な点がある場合は、US_Export_Classification@dell.com までメールでお問い合わせください。